

## 浄円寺（広島県佐伯郡大柿町大君）の角筆文献

柚 木 靖 史

### はじめに

浄円寺は、広島市の南方海上に位置する能美島（佐伯郡大柿町）にある浄土真宗の寺院である。「佐伯郡誌」<sup>(注1)</sup>に、「境内高燥眺望絶佳を以て著はる」と記される、由緒ある古刹である。お寺の古文書に伝えられるところによれば、創建は応永二年（一三九五）とされる。開基は柳譽によるもので、当初は真言宗南城山大寿院と号したという記録がある。柳譽について、詳しいことは未詳である。宗派としては、真言宗であったところを、浄土真宗に改宗し、寺名を南城山浄円寺と改めたのは、第十四代住職柳雪<sup>(注2)</sup>で、それを崇傳<sup>(注3)</sup>が引き継いだ。慶長五年（一六〇〇）のことである。

この度、御住職より格別の御厚情を賜り、お寺に古くから伝わる文献を調査させていただいた。浄円寺には、四〇〇点を越

える古文書、お経の写し、板本が伝えられている<sup>(注4)</sup>。そのほとんどが、江戸時代の写本、板本と推せられるが、このお寺にしかない貴重な古文書も多く伝えられている。今般の文献調査は、そのなかから角筆文献を発見することを目的としたものである。調査の結果、十二点の角筆文献を発見することが出来た。その後、数回にわたる文献調査を重ね、これらの角筆を精査した。本稿では、その精査した結果に基づいて、角筆の書き入れにみられる、国語史上、特に音韻史上の諸問題について考察していくことにする。

### 一 浄円寺の角筆文献

まず、今般の調査で発見された角筆文献の書誌的な事項を示す。

(1) 浄土文類聚鈔 一冊

江戸時代寛永十三年（一六三六）板 袋綴装 訓点附刻

あり 朱書書き入れあり

縦26・4×横18・9 平成十年六月二十七日柚木靖史発見

(刊記) 寛永丙子仲冬吉旦 西村又左衛門新刊

(2) 首書 淨慈要語 一冊

江戸時代延宝二年(一六七四)板 袋綴装 訓点附刻あり  
墨書・朱書書き入れあり

縦27・0×横19・1 平成十年六月二十七日宇高理恵発見

(跋文) 寛文癸丑孟夏佛降誕日 讚州指山釋養存敬跋

(刊記) 延宝二甲寅仲秋吉旦

書林 中野氏は誰板行

(3) 孟子 道春点 二冊

江戸時代初期板 袋綴装 訓点附刻あり 朱書書き入れあり

縦27・4×横18・8 平成十年六月二十七日宇高理恵発見

(表紙見返・墨書) 平澤氏 三吉村 徳正寺 常什物

(4) 詩傳 一冊

江戸時代後期板 袋綴装 訓点附刻あり 墨書書き入れあり  
縦25・0×横17・7

朱印・墨印あり 平成十年六月二十七日宇高理恵発見

(卷末・墨書) 晨氏

(5) 諸儒箋解古文真宝後集 二冊

江戸時代中期板 袋綴装 訓点附刻あり 墨書書き入れあり

あり 縦26・5×横18・4

平成十年六月二十七日宇高理恵発見

(表紙・墨書) 大君村 淨圓寺 晨靈善 什物

(6) 論語 三冊

江戸時代天保三年(一八三二)板 袋綴装 訓点附刻あり  
朱書書き入れあり

縦25・4×横18・0 「柏原屋三郎兵衛 ひろしまかはや町」墨印あり

平成十年六月二十七日増谷圭美発見

(刊記) 安永二癸巳歲秋九月

天保三壬辰歲初春新刻

浪華書肆 吉文次屋市兵衛

敦賀屋九兵衛

柏原屋清石衛門

堺屋清兵衛

□□屋太助

(7) 小学句読 四冊

江戸時代寛文六年(一六六六)板 袋綴装 訓点附刻あり  
墨書書き入れあり

縦27・0×横18・8 平成十年六月二十七日溝口智子発見

(後表紙見返・墨書) 廣島縣安芸国佐伯郡 大君村

(刊記) 寛文六丙午稔立秋開刊

## (8) 諸家集註唐詩三體家法 二冊

江戸時代初期板 袋綴装 訓点附刻あり 墨書・朱書書き入れあり

縦26・3×横18・8 平成十年六月二十七日柚木靖史発見

(表紙・墨書) 唐賢三體詩 羅山訓点

(後表紙見返・墨書) 浄円寺 柳紅

## (9) 教行信証 一冊

江戸時代初期板 袋綴装 訓点附刻あり 朱書書き入れあり

縦26・2×横18・1 平成十年六月二十七日宇高理恵発見

(後表紙見返・墨書) 浄円寺什物

## (10) 佛説阿弥陀經 一帖

江戸時代板 折り本 訓点附刻なし 墨書書き入れなし

縦26・8×横8・4

平成十年六月二十七日柚木靖史発見

(刊記) 龍谷山 蔵板

應命 蔵板

應命 慶證寺釋玄智謹板

## (11) 佛説観無量寿經 一帖

江戸時代板 折り本 訓点附刻なし 墨書書き入れなし

縦28・0×横7・6

平成十年六月二十七日柚木靖史発見

## (12) 大乘起信論注疏 四冊

江戸時代板 袋綴装 訓点附刻あり 墨書・朱書・白書書き入れあり 縦28・0×横19・6

平成十年八月三十一日岡本有紀子発見

今般、浄円寺で見つかった角筆文献は、以上掲げた十二点、冊数にして二十三冊である。広島市域では、巖島神社(宮島)、早稲田神社(注6)(牛田早稲田)、安楽寺(注7)(牛田本町)、不動院(注8)(牛田新町)、道隆寺(注9)(府中町)、法正寺(注10)(比治山町)などの寺社から多数の角筆文献が見つかったが、浄円寺はこれに続く発見である。今回の発見は、広島市域のうち、特に島嶼部においても、角筆が使われていたことを示すものとして重要であろう。

さて、今回発見されたものは、いずれも江戸時代の板本である。その内訳は、論語・孟子など漢籍が六点、佛説阿弥陀經、佛説観無量寿經など仏典が六点である。概ね、漢籍の角筆文献には、漢字の読みが角筆によって記され、仏典は字句の注が角筆によって記されている。尚、これらの文献の多くが、浄円寺に代々伝えられてきたことは、墨書に「浄円寺」あるいは「辰」とあることにより知ることができる。「辰」は、浄円寺の現御住職の名字である。また、「大君村」「三吉村」(注11)などという、能美島ゆかりの地名も散見される。これらのことから、今回発見された角筆文献が、代々の浄円寺御住職の所有であったものか、

もしくは近郊に住んでいた人物の所有であったものでそれを寄贈されたものだったということが知られる。

## 二 浄円寺藏角筆文献における角筆の書き入れ

先に示したように、今般の文献調査で、浄円寺から十二点の角筆文献が見つかった。その後、これらの文献全てを対象に、角筆の解読作業を行った。ここでは、その解読作業の結果、墨の書き入れではあまり認められないような例を、文献ごとにまとめておくことにしたい。

### 1 浄土文類聚抄

角筆の書き入れは、管見に入る限り一カ所。規範に外れるような事象は認められない。

### 2 首書 淨慈要語

#### ○開合の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

・茫然トシテ〔ボウ〕〔卷上本 十四丁表5行目〕〔鍵括弧内  
に示したものが、角筆による書き入れである。以下、全てこ  
の形式で用例を示す〕

・逃―避〔トウ 長〕〔卷上末 四丁表4行目〕

#### ○類音字表記

・逃―避〔トウ 長〕<sup>〔注12〕</sup>〔卷上末 四丁表4行目〕〔長は、逃  
の音を示したものと考える〕

### 3 孟子

#### ○開合の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

・郊―閔〔コウクワン〕〔二十六丁表6行目〕・倉 廩<sup>〔リ〕</sup>〔ソ  
ウリン〕〔二十八丁裏6行目〕

・陋―巷〔ロコ〕〔三十二丁裏9行目〕

#### ○合拗音の直音表記

・驢〔カン〕〔三十丁表4行目〕

#### ○長音の短呼

・陋―巷〔ロコ〕〔三十二丁裏9行目〕

### 4 詩傳

#### ○開音の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

・鴉行〔ホウカウ〕〔卷上 四十三丁裏3行目〕

〔合音を開音にしたもの〕

・遯<sup>〔リ〕</sup>近〔カイカウ〕〔卷上 四十二丁裏2行目〕

#### ○合拗音の直音表記

・睨腕〔ケンカン〕〔卷上 十二丁裏4行目〕・潰〔カイ〕  
〔卷上 十三丁表2行目〕・環〔カン〕〔卷上 三十六丁裏4  
行目〕・檜〔カイ〕〔卷上 五十二丁裏6行目〕

## ○長音の短呼

・翹翹〔キヨキヨ〕〔卷上 三三丁裏4行目〕・窶〔ロ〕〔卷上  
三三丁裏6行目〕・調飢〔チヨキ〕〔卷上 四丁表1行目〕・竹  
閉〔チクヒ〕〔卷上 四十六丁表6行目〕

## ○「e」を「a」にしたもの

・帆〔タヌグイ〕〔卷上 八丁表1行目〕（もとはテヌグイ  
〔手拭い〕）

## ○「o」を「a」にしたもの

・休フ〔イカウ〕〔卷上 三三丁裏1行目〕

## ○「子音+ei」を「子音+i」にしたもの

・竹閉〔チクヒ〕〔卷上 四十六丁表6行目〕（チクヘイ↓チ  
クヒー）

## ○方言形

・迭ニ〔タガニ〕〔卷上 九丁表3行目〕（もとはタガヒニ）

○才段音に続く韻尾の「u」を「ウ」で表記せず長音であるこ  
とを示す「ヲ」で表したもの

・曖昧タル〔ヨリく〕〔卷上 五丁表2行目〕・蓬〔ホリ〕  
〔卷上 八丁表8行目〕・譁浪〔キヤくロラ〕〔卷上 十丁表  
5行目〕・離〔ヨリ〕〔卷上 十二丁表4行目〕・磬控〔ケイ

コリ〕〔卷上 二十九丁表6行目〕

## ○類音字表記

・縄繩〔上上〕〔卷上 一二丁裏3行目〕

## ○片仮名に平仮名を交えたもの

・譁浪〔キヤくロラ〕〔卷上 十丁表5行目〕

## 5 諸儒箋解古文真宝 二冊

## ○開合の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

・蕩攘ス〔トウ〕〔第二冊 卷六 八丁表6行目〕・陶陶〔ト  
ト〕〔第二冊 卷六 十丁表6行目〕・倒景〔ト〕〔第二冊  
卷七 六丁表8行目〕・皇甫〔コウホ〕〔第二冊 卷七 十  
丁表4行目〕・康王〔コウ〕〔第二冊 卷七 十二丁表6行  
目〕・刑賞〔ケイシヨ〕〔第二冊 卷八 一二丁表8行目〕・郊  
〔コウ〕〔第二冊 卷九 十丁裏8行目〕・始皇〔シヨ〕  
〔第二冊 卷九 十六丁表9行目〕

## ○長音の短呼

・錦鱗游泳シ〔キンリンユエシ〕〔第一冊 卷四 十二丁裏  
3行目〕・皓月〔ゴ〕〔第一冊 卷四 十二丁裏4行目〕・楼  
〔ロ〕〔第一冊 卷四 十二丁裏5行目〕・洋洋タル〔ヨ〕  
〔第一冊 卷四 十二丁裏6行目〕・嘉祐〔ユ〕〔第一冊 卷  
四 十九丁裏4行目〕・封溝〔ホコ〕〔第一冊 卷四 二十

二丁裏8行目・高低〔コ〕デイ〕〔第一冊 卷五 十五丁裏4行目〕・陶陶〔トト〕〔第二冊 卷六 十丁表6行目〕・婁

〔ロ〕〕〔第二冊 卷六 十一丁表7行目〕・雄耳ノミ〔ユ〕〕

〔第二冊 十四丁表3行目〕・倒景〔ト〕〕〔第二冊 卷七 六

丁表8行目〕・刑賞〔ケイシヨ〕〕〔第二冊 卷八 二丁表8

行目〕・姦凶〔カンキヨ〕〕〔第二冊 卷八 四丁裏5行目〕・

始皇〔シシヨ〕〕〔第二冊 卷九 十六丁表9行目〕・蒙恬

〔モ〕〕〔第二冊 卷九 十六丁表1行目〕・燕趙韓魏宋衛

〔エン長カンキソエイ〕〕〔第二冊 卷九 十七丁表5行目〕

○四つ仮名の混同

・躬カラ〔ミズ〕カラ〕〔第二冊 卷八 三丁表6行目〕・

辱ウカシク〔カタチケナイ〕〕〔第二冊 卷十 四丁裏5行目〕

○〔a〕を〔o〕にしたもの

・補フニ〔ヲギノ〕フ〕〔第二冊 卷十 五丁裏5行目〕

○〔z〕を〔d〕にしたもの

・盜賊〔トウドク〕〕〔第一冊 卷四 九丁裏7行目〕・禍ス

〔ハタハイ〕〕〔第二冊 卷六 十三丁表7行目〕

○類音字表記

・兵象也〔正〕〕〔第一冊 卷一 二十丁表7行目〕・瀟湘

〔小〕〕〔第一冊 卷四 十一丁表5行目〕

・消遣〔小〕〕〔第一冊 卷四 十五丁表6行目〕・昌黎〔小〕

〔第二冊 卷七 五丁裏3行目〕・趙〔小〕〕〔第二冊 卷九

十四丁裏3行目〕・燕趙韓魏宋衛〔エン長カンキソエイ〕

〔十七丁表5行目〕

・匠〔小〕〕〔第二冊 卷十 四丁裏6行目〕

6 論語

○合拗音の直音表記

・回〔カイ〕〕〔卷一 九丁表3行目〕・桓公〔カン〕〕〔卷四

二十九丁表6行目〕

○四つ仮名の混同

・焉イツコウカクサンヤ瘦哉〔イズクンゾ〕〕〔卷一 九丁裏2行目〕

○拗音「シユ」を直音「シ」で表記する

・舜禹〔シン〕〕〔卷三 二十八丁裏2行目〕・循循然トシテ

〔ジン〕〕〔卷三 三十二丁表9行目〕

○片仮名と平仮名の混合表記

・樊遲〔かんジ〕〕〔卷一 八丁表3行目〕・絢〔あヤ〕〕〔卷

二 二丁裏8行目〕

○長音の「ヲ」表記

・雍〔ヨヲ〕〕〔卷二 一丁表8行目〕

○類音字表記

・從者〔十〕〕〔卷二 七丁表8行目〕・乘〔音読符〕服〔音読符〕

〔正〕〕〔乘〕右傍・〔正〕〕〔乘〕左傍〕〔卷二 二十二丁裏3行

目〕・虎豹〔兵〕〕〔卷四 十二丁表7行目〕・是聞ナリ也

〔文〕右傍、〔文〕上欄外〕「卷四 十三丁裏7行目」・冉有  
 〔ゼン由〕「卷八 八丁表6行目」・分崩〔方〕「卷八 九  
 丁表5行目」・蕭牆〔小小〕「卷八 九丁裏8行目」

## 7 小学句読

## ○開合の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

## (漢語)

・不幸ニシテ〔コウ〕「序 一丁裏2行目」・恵温良〔リヨ  
 ウ〕「卷一 三丁表1行目」・剛ニシテ〔コウ〕「卷一 七  
 丁表6行目」・造言〔ソウ〕「卷一 九丁表4行目」・総シ  
 〔ソウ〕「卷二 一丁裏3行目」・願望〔コホウ〕左傍「卷  
 二 三十三丁裏3行目」・客貌〔ホウ〕「卷三 四丁表3行  
 目」・考〔コウ〕「卷三 十二丁表6行目」・暴悍ナル〔ホ  
 ウ〕「卷五 四十九丁表4行目」

## (和語)

・嬰ギツカハ不ル〔ヲウギ〕ツカハザル「卷二 三十四丁表2行  
 目」・全フスル〔マツト〕フスル「卷二 三十六丁表7行  
 目」・魏ヲ纂ニ及テ〔ウボウ〕ニ「卷六 十一丁裏7行目」  
 ・分チ賚ルコト〔アトフ〕ルコト「卷六 三十六丁表1行目」  
 ・蜻蛉〔トホノコト〕「卷五 十四丁表上欄外」(もとはトン  
 バウ)

〔合音を開音にしたもの〕

・誦説〔シヤウ〕「序 三丁表3行目」・業〔キヤウ〕「卷  
 二 五丁裏5行目」・拱ス〔キヤウ〕ス「卷二 三十一丁表  
 2行目」・噉応スルコト〔キヤウヲウ〕「卷三 六丁表2行  
 目」・興起スル〔カウ〕「卷四 一丁裏5行目」・踊躍〔ヤ  
 ウ〕「卷四 二丁裏1行目」

## (和語)

・飾フ〔ト、ナフ〕「卷一 十丁表5行目」  
 ○合拗音の直音表記

・怠荒〔タイカウ〕「卷三 六丁表2行目」

## ○長音の短呼

・皆繰〔ヨ〕「卷三 四丁裏6行目」・文王邑〔ユ〕「卷四  
 六丁表5行目」・塚壙〔チヨ〕「卷六 十四丁表2行目」

## ○四つ仮名の混同

・垢ケハ〔アカスケ〕ハ・右傍「卷二 五丁表5行目」(も  
 とはツケ〔付〕・忤ルコト母レ〔ハスル〕コト)「卷二 三  
 十一丁裏6行目」(もとはハヅル〔耽〕・舒遲〔チヨ〕「卷  
 三 七丁表6行目」・若〔ナンシ〕「卷六 三十丁表2行目」

## ○連続する母音の後接母音の脱落

・鼻息〔ハナキ〕「卷二 二十一丁表4行目」(もとはハナイ  
 キ)

## ○〔u〕を〔o〕にしたもの

- ・繆形〔ホクヨフ〕〔巻六 二十六丁表4行目〕
- 「ア」を「ヤ」としたものと
- ・倚〔ヨリヤウ〕〔巻二 四丁裏4行目上欄外〕（もとはヨリアウ〔合〕）
- イ音便
- ・斉テ撰サケ〔モスソヲロヒ〕テ〔巻二 二十一丁表2行目〕（もとはヲロシテ）
- オ段拗長音をイ段にしたもの
- ・三徴七辟〔チウ〕〔巻六 十一丁表7行目〕
- 拗音「シユ」「ジュ」を直音「シ」「ジ」としたものと
- ・塾党〔シク〕右傍、「シク」左傍、「シク」下欄外〔巻一 六丁表5行目〕・黷語如タリ也〔シクセン〕〔巻二 二十一丁表6行目〕・夙夜〔シクヤ〕左傍〔巻二 二十四丁裏7行目〕・肅シテ〔シク〕〔巻二 三十六丁裏2行目〕・祝シテ〔シク〕シテ〔巻三 十一丁裏5行目〕
- 「z」を「d」にしたもの
- ・数ルコトヲ〔カトウ〕ルコトヲ〔巻一 三丁裏6行目〕
- 「シ」を「ヒ」としたものと
- ・咳〔ヒハフキ〕〔巻二 四丁裏4行目上欄外〕・祭祀〔ヒ〕〔巻六 二十二丁裏4行目〕
- 「フ」を「ク」としたものと
- ・二夫〔ク〕夫〔左傍〕〔巻二 二十三丁裏7行目〕
- 「b」を「m」にしたものと
- ・宗テ〔タツトム〕〔巻二 二十五丁表3行目〕・頗〔スコムル〕〔巻六 三十四丁表1行目〕・嘯カ不〔ウソム〕カズ〔巻二 二十八丁表8行目〕
- 撥音を省略したもの<sup>〔注13〕</sup>
- ・素ヲ純ニモ〔セ〕不〔モトヲシユセス〕〔巻三 十二丁裏2行目〕・蜻蛉〔トホノコト〕〔巻五 十四丁表上欄外〕
- 方言形か
- ・姦マシ〔カタカマシ〕〔巻三 八丁表8行目〕（もとは、「カタマシ」）・沽タル〔カラ〕タル〔巻三 十五丁裏3行目〕
- ・柔カニシ〔ヤワヤ〕カニシ〔巻五 十七丁裏6行目〕
- 類音字表記
- ・衣装〔正〕〔巻二 五丁表6行目〕・号泣〔ガウ久〕〔巻二 二十二丁裏5行目〕・宮室〔久〕〔巻二 十五丁裏上欄外〕・離シ〔正〕〔巻二 二十四丁裏2行目〕・摯ヲ〔至〕右傍、「シ」左傍〔巻二 二十六丁表3行目〕・采〔才〕〔巻三 二十二丁裏3行目〕・訟〔正〕〔巻三 十六丁表2行目〕
- オ段長音を「ヲ」で表記したもの
- ・設為ナシテ〔モヲケ〕〔巻二 一丁表4行目〕
- 格助詞「ヲ」を「ウ」で表記したもの
- ・歩ヲ連ネテ〔ホウツラ〕ネテ〔巻二 三十六丁裏8行目〕
- 喉内入声をツで表記したもの



・畜犬〔チツ〕〔卷六 四十丁裏3行目〕

○平仮名と片仮名の混合表記

・紳シ〔キヲビ〕〔卷二 二丁表6行目〕・鶴シ〔アツ〕右傍、

〔カツシ〕左傍〕〔卷三 十五丁表2行目〕

○活用的一段化

・貳（ルモノト）雖〔ソヘ〕ルモノトイヘドモ〕〔卷二 三十

三丁裏1行目〕・勤ヲ服シテ〔ツトメル〕〔卷二 三十八丁

表4行目〕

○字句の意味を書いたもの

・行媒〔中立ヨメ入り也〕『媒』右傍〕〔卷二 二十四丁表3

行目〕

8 諸家集註唐詩

○開合の乱れ

〔開音を合音にしたもの〕

・雍陶〔ヨウトウ〕〔卷一 八丁表5行目〕・考夕〔コウセ

キ〕〔卷一 十九丁表5行目〕・維イ〔墨書〕楊〔ヨ〕〔卷

一 十九丁表6行目〕・稲梁肥タリ〔トウ〕〔卷一 二十丁

裏15行目〕・陽関〔ヨ〕〔卷一 二十五丁裏2行目〕・巢燕

〔ソウエン〕〔卷一 二十七丁表6行目〕

〔合音を開音にしたもの〕

・郷〔キヤウ〕〔卷一 十丁裏4行目〕・憑秀〔ヒヤウシウ〕

〔卷一 二十七丁裏4行目〕・春秋峽〔キヤウ〕〔卷一 三十

丁表14行目〕

○合拗音の直音表記

・潺セン湲〔カン〕〔卷一 十一丁表7行目〕

○長音の短呼

・維楊〔ヨ〕〔卷一 十九丁表6行目〕・陽関〔ヨ〕〔卷一

二十五丁裏2行目〕

○四つ仮名の混同

・短ク〔ミチカ〕ク〕〔卷一 十四丁裏2行目〕・迢迢〔上〕

〔卷一 三十三丁裏4行目〕

○「シ」を「ヒ」にしたもの

・此身〔ヒジン〕〔卷一 二十八丁裏1行目〕

○撥音を省略したもの<sup>〔注14〕</sup>

・県〔ケ〕〔卷一 八丁表9行目〕・遠帆〔エハ〕〔卷一

八丁表10行目〕

○類音字表記

・窮郊〔久カヲ〕〔卷一 十丁表4行目〕・蝶〔長〕〔卷一

十丁裏5行目〕・戦図〔千ト〕〔卷一 二十六丁裏3行目〕・

迢迢〔上〕〔卷一 三十三丁裏4行目〕

○平仮名と片仮名の混合表記

・髪〔ハツ〕〔卷一 八丁裏4行目〕

## 9 教行信証

角筆の書き入れが少なく、また規範外の事象も管見に入らなかった。

## 10 佛説観無量寿経

## ○開合の乱れ

「開音を合音にしたもの」

・瓔珞（「ヨ」ラク）「二丁表2行目」

○長音の短呼<sup>(注15)</sup>

・瓔珞（「ヨ」ラク）「二丁表2行目」・五体投地（ゴ「タイ」トチ）

「七丁表2行目」・葉（「ヨ」）「十四丁裏1行目」

## ○合拗音の直音表記

・我観（「カン」）「七丁表3行目」

## ○四つ仮名の混同

・宝珠（「チユ」）「十二丁表2行目」

○「ゾ」を「ド」としたもの

・未曾聞有（「ミド」）「四丁表2行目」

○最後の一拍を脱落させたもの

「ン」の脱落

・臣不忍聞（「ニ」）「四丁表3行目」・懺悔（「サケ」）「四丁裏

2行目」

「ウ」の脱落

・流注（「ルチ」）「十七丁表3行目」・鏡中（「キヨ」）「二十二

丁表3行目」

「ク」の脱落

・飾（「シヨ」）「二十丁裏2行目」

「ツ」の脱落

・真実（「ジ」）「三十六丁表4行目」

○平仮名と片仮名の混合表記

・閉置（「ヘイチ」）「四丁裏3行目」

○類音字表記

・紅（「工」）「十四丁裏2行目」

## 11 佛説無量寿経

○長音の短呼

・講武（「コフ」<sup>(注16)</sup>）「卷一 四丁表4行目」

○最後の一拍を脱落させたもの

・文芸（「ケ」<sup>(注17)</sup>）「卷一 四丁表3行目」

## 12 大乘起信論疏

○開合の乱れ

・相属（「ソウソク」）「卷上之二 三十一丁表3行目」

○平仮名と片仮名の混合表記

・大乘起信論疏 夫真心記云真心二字正指法体十大法体也（ラ

「う」アリ」上欄外、「ク」ユウ」『大乘起信論疏』右傍)「卷一  
序二丁表」・自ノ心(「モウ」)「卷一 九丁裏4行目」・煩惱礙  
(「ソウ」ソク)「卷上之二 三十八丁裏6行目」

○最後の一拍のみを表記したもの

「ン」を表記したもの

・偏シテ(へ「ン」)「卷一 九丁表7行目」・今捨言(コ「ン」)

「卷一 十一丁裏3行目」・煩(ハ「ン」)「卷上 十一丁表6  
行目」

「イ」を表記したもの

・製(セ「イ」)「卷上 七丁表2行目」

「ウ」を表記したもの

・統収ス(ト「ウ」)「卷一 八丁表3行目」・業(ゴ「ウ」)「卷  
一 九丁表4行目」・執相(シ「ウ」)「卷二 三十五丁表2行  
目」

「ツ」を表記したもの

・相撰スルニ「ア」「イ」「セ」「ツ」スルニ)「卷一 十丁表4行目」・  
入証(ニ「ツ」)「卷一 十二丁表1行目」・法正(ホ「ツ」)

「卷上 四丁表1行目」・撰ス(セ「ツ」)ス)「卷上 四丁裏7  
行目」・撰ス「セ」「ツ」)ス)「卷上 八丁表3行目」・執取(シ

「ツ」)「卷上之二 二十三丁表5行目」

○濁点を記した<sup>(注18)</sup>もの

・終教(「教」の右上に角筆による濁点)「卷一 四丁裏7行

目」・定性(「定」「性」の右上に角筆による濁点)「卷一 五  
丁表1行目」・終教(「教」の右上に角筆による濁点)「卷一  
五丁裏4行目」・包傳(「傳」の右上に角筆による濁点)「卷一  
六丁表5行目」・三三著苦樂(「著」の左上に角筆による濁点)  
「卷一 六丁裏4行目」・派羅末陀(「陀」の右上に角筆による  
濁点)「卷上 二丁表4行目」・智愷(「愷」の右上に角筆によ  
る濁点)「卷上 二丁表5行目」・博解神異ナリ(「神」の右上  
に角筆による濁点)「卷上 二丁表7行目」・時(「時」の左上  
に角筆による濁点)「卷上 四丁裏2行目」・衆生(「衆」の右  
上に角筆による濁点)「卷上 五丁裏4行目」・存(「存」の右  
上に角筆による濁点)「卷上 十六丁裏7行目」・心性(「性」  
の右上に角筆による濁点)「卷上 十七丁裏6行目」・妄心  
(「心」の右上に角筆による濁点)「卷上 二十二丁裏6行  
目」・連注(「注」の右上に角筆による濁点)「卷上之二 十一  
丁裏7行目」・重習(「習」の左上に角筆による濁点)「卷上之  
二 十三丁表3行目」・能現(「現」の右上に角筆による濁点)  
「卷上之二 二十七丁裏6行目」・同(「同」の右上  
に角筆による濁点)「卷上之二 二十八丁裏7行目」

### 三 角筆の書き入れに見られる口頭語的事象

前項で、角筆の書き入れが口頭語的な事象に関わるものであ

と思われるものや、表記上、墨で書かれたものとは異なる特徴を示しているものについて、文献ごとに用例を掲げてきた。ここでは、角筆の書き入れから分かることを述べる。

開合の乱れ(十二文献中九文献)、長音の短呼(十二文献中七文献)、合拗音の直音表記(十二文献中六文献)、四つ仮名の乱れ(十二文献中五文献)などが、多くの角筆文献に共通してみとめられる。さらに、ザ行子音とダ行子音の交替(十二文献中三文獻)、シユ・ジュをシ・ジにしたもの(十二文献中二文獻)、シをヒにしたもの(十二文献中二文獻)などの事項も、複数の文献に亘って現れた事象であり、口頭語に関わるものとして注目される。

まず、開合の乱れについては、室町時代後期あたりから、文献上に認められるようになったことが知られており、江戸時代に開音は合音へ変化したと言われている。ただし、現代の方言でも、信州や東北の一部などに開合の区別が保たれていることもよく知られるところである。江戸時代の角筆の書き入れに、開合の乱れたものが多く認められるということは、安藝地方においても、江戸時代において、開合の区別は失われていたことを示すのであろう。ただし、角筆の書き入れには、開音から合音への変化とは逆行するもの、すなわち合音をわざわざ開音にした例が、多く認められる。浄円寺の角筆文献では、4詩伝、7小学句読、8諸家集註唐詩にこのような例がみられている。

音韻史上の変化に逆行するかなのような例が、なぜ存するのか、今のところはその明確な答えを見出し得ていない。開合の区別が乱れた結果、合音であるものを開音と誤推したもののようにもみられるが、合音になっていないものを敢えて開音にする必要もないのではなからうか。角筆の書き入れが、口頭語を反映しているとするれば、誤推という知識による表記がここに現れたとみるよりも、熟語によっては合音から開音に変化したものもあつたとみるべきかもしれない。今後の検討課題としたい。

次に、合拗音の直音化については、後期の江戸語で、その混乱が顕著になつたとされるものであるが、安藝地方においても江戸時代において、これが顕著であつたことは、角筆の多くの例によって知られる。ただし、僅かではあるが、果園(「クハエン」)「5 諸儒箋解古文真宝後集 十二丁裏5行目」、盥(「クワン」)「7 小学句読 卷二 二丁裏5行目」、画クセ不(「クワク」)「7 小学句読 卷二 三十四丁表1行目」など、合拗音を保っている例も存することから、熟語によっては直音化していないものもあつたようである。

長音の短呼という事象も、角筆文献に多く見られるものである。どのような長音が短呼されるのかということについては、明確な法則性というものは見いだせないが、強いて挙げるとすれば、懸懸(「キヨキヨ」)「4 詩伝 卷上 三丁裏4行目」、陶陶(「トト」)「5 諸儒箋解古文真宝後集 第二冊 卷六 十

丁表6行目」などのように長音の漢字が重なる熟語で、両方の漢字の音が短呼されることが多いようである。

四つ仮名の混乱も、角筆文献に多く見られるものである。室町時代の中後期あたりから混乱が顕著になり、江戸時代には、『硯縮涼鼓集』<sup>(注19)</sup>に記されるように、混乱がかなり進んでいたと考えられている。近世の安藝地方においても、四つ仮名が混乱していたであろうことは、角筆の書き入れで、四つ仮名の混乱を示す例が多数見つかることから窺い知ることが出来る。四つ仮名の混乱とは、ヂ・ジとヅ・ズの音韻上の区別が失われ、ジ・ズに統合されていく現象をいうのであるが、浄円寺の角筆文献において、必ずしも、ヂをジ、ヅをズにしないことは注目される。すなわち、同書群における四つの仮名の混乱の例、八例のうち、四例が本来ヅであるところをズにしたもの、残りの四例が本来ジであるところをヂにしたものである。前者の方は、四つ仮名が混乱し変化していく状況と合致しているものの、後者の方は変化の方向とは逆行しているようにみえる。もっとも、後者の方は、四つ仮名の混乱を背景にした、誤推という可能性もなくはないが、角筆が口頭語を反映しているとするならば、実際の発音に基づいた書き入れであるということも強ち否定は出来まい。このような例が存することは、ヂ・ヅが一律にジ・ズへ変化していったのかどうかという疑問を生じさせる。<sup>(注20)</sup>四つ仮名のうちの、イ段音とウ段音を一括できるのかどうか、

地域によっては逆行するような変化が生じていたのかどうかなど、検討の余地がありそうである。

シユ・ジュをシ・ジにする事象（ヤ行拗音の直音化）、シをヒにする事象、ザをダにする事象なども、角筆文献に多く見られるものである。これらの事象についても、音韻史研究では従来取り上げられることが多いものではあるが、上方語や江戸語を対象にした研究が中心になされてきた観がある。角筆の書き入れからは、江戸時代の安藝地方でも、先のような音韻的事象が存したことが知られる。「シユ」を「シ」とすることにについては、『浮雲』<sup>(注21)</sup>（二葉亭四迷）や『東京方言集』<sup>(注22)</sup>にみられるように、近代の東京方言で顕著であったとされるものであるが、安藝地方でも顕著であったものようである。また、ヒをシと発音する現象も、式亭三馬の『浮世風呂』<sup>(注23)</sup>、二葉亭四迷の『浮雲』<sup>(注24)</sup>や矢田部良吉の『羅馬字早学』<sup>(注25)</sup>などにみられるように、近世の江戸語、近代の東京方言で顕著であったとされるものである。浄円寺の角筆文献では、全て、シをヒとしている点で、江戸語や東京方言と必ずしも同じではないが、当時、安藝地方では「シ」と「ヒ」は近しい音であったことが知られる。ザをダにする現象は、ザが歯茎摩擦音でダが歯茎破裂音であるように、調音点が同じで調音方法が異なるといった、いわば両者近しい音であった、その点では交替しやすいものである。先に四つ仮名のところで、浄円寺の角筆の書き入れには、ジをヂとしたような

例が存することに触れたが、ザをダに交替させていることと関わりがあるのかも知れない。

以上、音韻的事象について、特に気づいたものを取り上げてきたが、ここから、表記上の事柄に話を移すことにする。表記上の事柄で、最も特徴のあることは、角筆の書き入れに類音字表記の例が多数認められることであろう。類音字表記は、もともと、日本語になかった拗音の字音を示すために、調点資料などで使用されたものであるが、角筆文献にみられる類音字表記はそれと性質を異にすることは、拗音を含まない「由」「方」「文」「至」「才」「千」といった類音字が使われていることから推せられる。表記の上では、片仮名に平仮名を交えたものも多数みられることから、角筆の書き入れにおいては、文字の種類を統一させようという意識は低かったようである。このような意識は、角筆が、他者に見せるためのものではないこと、速記を旨とすることなどに依るものと思われる。角筆の書き入れに使われた類音字は、全て本文の漢字に比べ画数が少ない漢字であり、この点では労力の軽減になったのであろう。ただし、例えば、「摯」の読みとして「至」という類音字を書き入れるのと、「シ」という仮名を書き入れるのとどちらが速いのか。私には後者の方が速いようにも思われる。このように、角筆の書き入れにおける類音字表記の多さが、速記を容易にさせることとどう繋がってくるのか、必ずしも判然としないところもある。

り、今後の検討課題である。角筆の書き入れにみられる表記上の特徴としては、他にも、才段長音を「ヲ」で表記したもの、最後の一拍を脱落させたもの、最後の一拍のみを表記したもの、濁点を記したものなどがある。才段長音を「ヲ」で表記したもののや、最後の一拍を脱落させたものについては、実際の発音を反映した表記とみられる。最後の一拍のみを表記することの理由については、未だ定かではない。他の箇所から発見された角筆文献にも、最後の一拍のみを書き入れているものが存する。

漢文を読んでいくうえで、最後の一拍に注意しなければならぬ特別の理由でも存したのであろうか、今後の検討課題としてい。濁点を表記した例が多いのも、角筆の書き入れの特徴である。近世資料でも、濁点を記さない表記が一般的であり、読解上、清濁の区別は難しい面が存する。角筆文献における濁点の多さは、清濁を判断する上での好資料になるものと思われる。

#### おわりに

以上、今般、広島市佐伯郡大君にある南城山淨円寺からみつかった、十二点の角筆文献について紹介し、その精査にもとづいて、音韻上、表記上の観点を中心に、墨の書き入れと比較しつつ、角筆の書き入れの特徴とされることを、項目別に述べてきた。拙稿の筆者は、広島市周辺域では、厳島神社、不動院、

早稲田神社、法正寺、安楽寺等で、角筆文献を発掘し、精査を重ねてきた。今回、浄円寺の角筆文献で見出された事象は、これら他のところで見つかった角筆文献にも共通して見出されるものである。この点で、江戸時代における安藝地方の口頭語を示すものと考えてよいであろうが、それをより確実にするためにも、また、今回残された今後の検討課題を明らかにするためにも、今後より一層の角筆文献の発見、さらには発見したままで解読されていない角筆文献の精査が必要である。今後、このような調査を重ねることによって、角筆文献を資料にすることの意義がより深まっていくものと考えている。

(注1) 『佐伯郡誌』(佐伯郡教育会編 昭和四十七年八月三十一日 株式会社名著出版)

(注2) 浄円寺古文書によれば、「此人西本願寺准如上人ニ帰依改宗。而浄土真宗南城山大寿院浄円寺歟」とある。

(注3) 同名の僧侶には、徳川家康の外交文書作成に携わった黒衣の宰相、以心崇傳がおり、生きた時代もほぼ一致するが、両者は別人である。浄円寺古文書によれば、「此人出生播州宇祢ト申候ヨリ来依テ寺地名宇祢ト申候」とある。

(注4) 浄円寺に伝えられた古文書、板本についての書誌的なことは、「浄円寺蔵書目録」(柚木靖史編 私家版)に収録している。浄円寺蔵書のなかには、「見性」「靈明」なる印の押されたものが多い。靈明は、浄円寺第十一代住職で、江戸時代後期を生きた人物である。見性は、その子である。浄円寺の蔵書は、この靈明、見性親子によって収集された文献に始まり、第十二代靈性以降、代々

の御住職が引き続き精力的に収集された古文書によって構成されていると考えられる。

(注5) 拙稿「厳島神社の角筆文献」(『広島女学院大学日本文学』第8号 1998年7月)を参照されたい。

(注6) 平成七年に、文献調査を行い、七点の角筆文献を発見した。

(注7) 拙稿「広島市安楽寺蔵科注妙法蓮華経(角筆文献)について」(『論集 広島女学院大学四十三集』平成5年)を参照されたい。

(注8) 平成四年に、文献調査を行い、六点の角筆文献を発見した。

(注9) 平成六年に、文献調査を行い、二点の角筆文献を発見した。

(注10) 拙稿「広島市比治山町在 法正寺蔵角筆文献について」(『広島女学院大学 日本文学第5号』平成7年7月)を参照されたい。

(注11) 三吉村、徳正寺と浄円寺との間に、深交のあったことは、浄円寺第十一住職(浄土真宗改宗の後)の靈明が、徳正寺より来て、浄円寺を相続したことなどからも伺われる。

(注12) ここでの角筆は、「逃」の音である「トウ」「チヨウ」の読みを記したものと思われる。「長」は類音字表記であろう。

(注13) ここでの角筆、「モトヲシユセス」「トホノコト」は、一続きに書かれたものであり、「ジユン」の「ン」や「トンボ」の「ン」を書き落としたものとは考えにくい。従って、長音の短呼の例と見られる。

(注14) 角筆で「県」を「ケ」としたものについては、「ケン」の「ン」を書き落としたものとも見られるが、「遠帆」を「エハ」としたものについては、二字の間が離れているわけではなく、二字を続けて書いていることから、「エン」の「ン」を書き落とした例とは考えにくい。従って、ここでは撥音の脱落とみる。

(注15) いずれも、オ段の長音を短呼したものである。「ヨラク」「タイトチ」は一続きで書かれたものであり、「ヨウ」の「ウ」「トウ」の「ウ」を書き落としたものとは考えにくい。

(注16) 「コブ」も間に隙間はなく、一続きに書かれたものである。従っ

て、「コウ」の「ウ」を書き落としたものとは考えにくい。

- (注17) この例は、「ゲ」が発音どおりに示したものか、「ゲイ」の「イ」を書き落としたものか定かではない。前者だとすれば、「ゲイ」における「ei」の長音化を経て、さらにそれを短呼したものであることになろう。

- (注18) 角筆による濁点は全て「。」のような双点により示されている。薄いものもあるが、濁点とおぼしき例は、この他にも多々存する。近世当時の熟語における清濁を判断する、好資料であろう。

- (注19) 『硯縮涼鼓集』は、元禄当時、京都で乱れていた四つ仮名の表記をただす目的で作られた書である。

- (注20) 契沖の『和字正濫鈔』には、「都方の人の常にいふは、ちの濁りはじとなり、つはずとなる。田舎の人のいふは、じはぢとなり、ずはづとなる」とある。

- (注21) 旧主義を代表するお政だけが、「亭主」(ていしゅ)を「ていし」と呼んでいる。

- (注22) 「御主人」(ゴシジン)、「宿」(シク)、「順序」(ジンジヨ)などといった語が掲載されている。

- (注23) 江戸の女性が「百人一首」を「ひやくにんいっし」と言ったことに対して、上方の女性が、「まだまア『しやくにんし』トいはいで頼母(たのぼ)しいナ」と言い返す場面がある。

- (注24) 旧主義を代表するお政は、「人」(ひと)、「二口」(しとくち)、「一言」(ひとこと)などのように、「ヒ」であるところを「シ」と言っている。

- (注25) 矢田部良吉は、「東京人は、ヒとシとを混すとの譏あれ共、是は下等社会に限る事なり」と指摘している。

- (注26) 広島市牛田の早稲田神社蔵の『論語』(角筆番号1504)は、この表記が顕著に認められる文献のひとつである。

- (付記) 南城山浄円寺の角筆文献調査は、平成十年に第一号を確認し

て以来、数度に亘る。その際、浄円寺の農教夫御住職とその御令室、晨紀恵様には、格別の御厚情と御世話を賜り、又公刊の御允許を賜った。茲に厚く御礼を申し上げる次第である。

(追記) この調査に参加し、角筆文献の発掘調査活動に参加した広島

女学院大学の学生は次の諸氏である。  
宇高理恵 大川由紀 岡本有紀子 増谷圭美 溝口智子  
山脇七重



## 「角筆の書き入れ一覧」

（鍵括弧内に示したものが、  
角筆による書き入れ）

## (一) 浄土文類聚抄

・功德殊勝ナルコトヲ「四丁表5行目」

印刷された本文では「殊勝ナルコトヲ功德（ス）」と訓むところを、  
角筆では「功德ハ殊勝（ナリ）」と訓み替えている。

## (二) 首書 淨慈要語

・跋ヒ一足（ヒ）「卷上本 十二丁裏6行目」・茫ボウ然シテトシテ（ボウ）

「卷上本 十四丁表5行目」・道（ク）コトヲ見不（イ）ク「卷上  
本 十九丁表1行目」・遺（ユイ）「卷上本 十九丁表1行  
目」・秘（ヒ）「卷上本 十九丁表1行目」・貪ムサボコト（ムサボ

ル）「卷上末 二丁裏1行目」・許サ不（ユルサ）ズ「卷上末 二  
丁裏3行目」・閑（ヘン）「卷上末 三丁表3行目」・輓（パン）

「卷上末 三丁裏4行目」・逃トウ避（トウ）長（トウ）「卷上末  
四丁表4行目」・観（ト）「卷上末 四丁裏5行目」

## (三) 孟子

第一冊目

・至（ジ）「四丁表4行目」・人（ボク）牧（ボク）「十五丁表5行目」・  
運（メグ）ラツ「十九丁表2行目」・郊（コウ）闕（コウクワン）

「二十六丁表6行目」・昆（コン）夷（コン）「上欄外」「二十六丁  
裏2行目」・呉（ゴ）「二十六丁裏4行目」・葛（カツ）

六丁裏4行目」・飢（キ）「二十八丁裏4行目」・溝（コウ）壑（コウ）

「二十八丁裏5行目」・倉（ソウ）廩（ソウリン）「二十八丁裏6  
行目」・府（フ）庫（フコ）「上欄外」「二十八丁裏6行目」・北  
狄（テキ）「三十七丁表6行目」・旄（ハウ）倪（ハウケイ）「三十八

丁表3行目」・諾（タク）「四十二丁裏2行目」

## 第二冊目

・迹（アト）「十六丁表5行目」・驢（カン）「三十丁表4行目」・  
踰（コ）ヘテ（コ）ヘテ「三十丁表7行目」・陋（ロ）巷（ロコ）「三十一丁  
裏9行目」・戮（リク）「三十三丁表3行目」・責（セメ）テ「三  
十三丁表6行目」

## (四) 詩傳

・誦（ヨウ）「序 三丁表5行目」・繩（上）上（上）「卷上 二丁裏3  
行目」・干（カン）「卷上 三丁表1行目」・越（キウ）越（キウ）「卷  
上 三丁表3行目」・休（イカウ）「卷上 三丁裏1行目」・  
（キョウ）「卷上 三丁裏4行目」・（ロ）「卷上 三丁裏6行  
目」・調（チヨキ）「卷上 四丁表1行目」・嘔（ヨラ

（ヨラ）「卷上 五丁表2行目」・（テツ）「卷上 五丁表3行目」・  
尸（シカ）「卷上 五丁裏4行目」・素（ソシ）絲（ソシ）「卷上 六丁表  
7行目」・庶（ソ）士（ソ）「卷上 七丁表2行目」・（トル）「卷上七  
丁表4行目」・猶（シ）シ（シ）「卷上 七丁裏1行目」・之（シ）誘（シ）

（トウ）「卷上 七丁裏7行目」・輓（タヌグイ）「卷上 八丁表1  
行目」・蓬（ホヲ）「卷上 八丁表8行目」・迭（タガニ）「卷  
上 九丁表3行目」・裳（モセ）「卷上 九丁表7行目」・（ア  
ヤ）「卷上 九丁裏1行目」・衣（イ）「卷上 九丁裏2行目」・淑  
ク慎（ヨクツツシム）「卷上 十丁表2行目」・諱（キヤク）浪（キヤク）

「卷上 十丁表5行目」・冒（ヲカス）「卷上 十丁表6行目」・  
院（ケンカン）「卷上 十二丁裏4行目」・離（ヨラ）「卷上  
十二丁表4行目」・咆（シヘン）「卷上 十二丁表7行目」・恐（ラソ）ル  
「卷上 十三丁表1行目」・潰（カイ）「卷上 十三丁  
表2行目」・（レン）「卷上 十四丁表1行目」・北（カサテ）風（カサテ）

「卷上 十五丁表4行目」・（テイ）コイサイキヨシトセス「卷上 十七  
丁表3行目」・（スウジヨ）「卷上 十七丁表6行目」・観（ル

〔ミ〕ル〔卷上 十八丁表6行目〕・零テ〔ヲチテ〕〔卷上 十八丁表8行目〕・施〔ホトコス〕〔卷上 二十一丁表5行目〕・都ヤカニ〔ミヤビヤカニ〕〔卷上 二十二丁表5行目〕・蚩ナル〔ケツ〕〔卷上 二十一丁表8行目〕・悼ム〔イタム〕〔卷上 二十二丁表8行目〕・中〔ナカ〕〔卷上 二十六丁表1行目〕・百權〔ヲ〕〔卷上 二十六丁表7行目〕・警控〔ケイコヲ〕〔卷上 二十九丁表6行目〕・鶯〔ケン〕〔卷上 三十一丁裏6行目〕・鷄鳴〔ケイメイ〕〔卷上 三十四丁裏1行目〕・環〔カン〕〔卷上 三十六丁裏4行目〕・簾那〔テンフツ〕〔卷上 三十七丁表3行目〕・公族〔シヨク〕〔卷上 三十八丁裏2行目〕・園ニ〔ソノニ〕〔卷上 三十八丁裏2行目〕・碩鼠ネズミ〔ソ〕〔卷上 四十丁表6行目〕・邂逅〔カイカウ〕〔卷上 四十二丁裏2行目〕・遺精ネズミタリ〔シヨ〕〔卷上 四十二丁裏7行目〕・鴝行〔ホウカウ〕〔卷上 四十三丁裏3行目〕・生テ〔イキ〕テ〔卷上 四十四丁表7行目〕・葛生〔カツ〕〔卷上 四十四丁裏3行目〕・竹閉〔チクヒ〕〔卷上 四十六丁表6行目〕・飢ヲ〔キヲ〕〔卷上 四十九丁裏5行目〕・訊〔トウ〕〔卷上 五十丁裏1行目〕・檜〔カイ〕〔卷上 五十一丁裏6行目〕・隰〔シユ〕〔卷上 五十二丁裏2行目〕

〔五〕 諸儒箋解古文真宝後集

〔第一冊〕

・感ス〔カン〕ズ〔卷一 十一丁表2行目〕・良辰〔シン〕〔卷一 十一丁表7行目〕・煙斜〔ケムリ〕〔卷一 十六丁表7行目〕・兵象也〔正〕〔卷一 二十丁表7行目〕・蓮〔レン〕〔卷一 十一丁表8行目〕・進学〔シンガク〕〔卷二 十四丁表2行目〕・乱雜〔ラシツ〕〔卷三 六丁裏4行目〕・盤〔ハン〕〔卷三 八丁表7行目〕・霧〔キリ〕〔卷三 十三丁表8行目〕・哭〔コク〕〔卷三 十六丁表5行目〕・探サケル〔サク〕ル〔卷四 三丁表3行目〕・泰山〔タイサン〕〔卷四 八丁表2行目〕・岐山〔キ〕〔卷四 八丁表6

行目〕・甲子〔カツ〕〔卷四 八丁表7行目〕・禾〔キビ〕〔卷四 九丁裏6行目〕・盜賊〔トウドク〕〔卷四 九丁裏7行目〕・熾ナラシサカナラン〔卷四 九丁裏7行目〕・瀟湘〔小〕〔卷四 十一丁表5行目〕・虎嘯〔トラヲ、シ〕キ〔卷四 十一丁表7行目〕・汀蘭〔テイラン〕〔卷四 十一丁裏2行目〕・錦鱗游泳シ〔キンリンユエ〕シ〔卷四 十一丁裏3行目〕・長煙〔エン〕〔卷四 十一丁裏4行目〕・皓月〔コ〕〔卷四 十一丁裏4行目〕・浮光〔フ〕〔卷四 十一丁裏4行目〕・沈ム〔シツ〕ム〔卷四 十二丁裏4行目〕・躍ラシ〔ヲト〕ラシ〔卷四 十一丁裏4行目〕・樓〔ロ〕〔卷四 十一丁裏5行目〕・答〔タウ〕〔卷四 十一丁裏5行目〕・把テ〔ト〕テ〔卷四 十一丁裏6行目〕・洋洋タル〔ヨ〕〔卷四 十一丁裏6行目〕・把テ〔タモツ〕テ〔卷四 十一丁裏6行目〕・求ルニ〔モト〕ムルニ〔卷四 十二丁裏8行目〕・廟堂〔ベウ〕〔卷四 十二丁表3行目〕・赤符〔フ〕〔卷四 十二丁裏6行目〕・臣妾〔シン〕〔卷四 十二丁裏8行目〕・進〔ス、ム〕〔卷四 十三丁表4行目〕・遂ンヤ〔トケ〕ンヤ〔卷四 十三丁裏6行目〕・貧夫〔ビン〕〔卷四 十三丁裏7行目〕・廉〔レン〕〔卷四 十三丁裏7行目〕・構テ〔カマヘテ〕〔卷四 十四丁表2行目〕・妓〔ギ〕〔卷四 十四丁裏2行目〕・地毀テ秦チン莽〔キ〕〔シン〕〔卷四 十四丁裏6行目〕・遠ク〔エン〕〔卷四 十四丁裏9行目〕・消遣〔小〕〔卷四 十五丁表6行目〕・竊ンデ〔ヌス〕ンテ〔卷四 十八丁裏1行目〕・漢興〔カンヲコリ〕〔卷四 十九丁表5行目〕・嘉祐〔ユ〕〔卷四 十九丁裏4行目〕・思亭〔シ〕〔卷四 二十二丁裏5行目〕・封溝〔ホコ〕〔卷四 二十二丁裏8行目〕・大宝タ篋〔イ〕〔ホウシン〕〔卷五 一丁表2行目〕・縦〔ホシ〕キママ〔卷五 三丁裏9行目〕・視箴〔シシン〕〔卷五 五丁表2行目〕・励マス〔ハゲ〕マス〔卷五 七丁表6行目〕・賸ホシ緑リ〔カイ〕〔ミトリ〕〔卷五 八丁表8行目〕・坤〔コン〕〔卷五 十丁裏2行目〕・高低〔コデイ〕〔卷五 十五丁裏4行目〕

## 〔第二冊〕

・刻シコト（「キザマン」コト）「巻六 七丁裏5行目」・誰（「タレ」）  
 「巻六 七丁裏7行目」・邊將（「ヘン」）「巻六 八丁表1行目」・聘テ  
 （「ハ」セテ）「巻六 八丁表1行目」・南巡（「シユン」）「巻六 八丁  
 表3行目」・水駕（「ガ」）「巻六 八丁表3行目」・蕩攘ス（「トウ」）  
 「巻六 八丁表6行目」・儲皇（「シヨ」）「巻六 八丁表6行目」・儲皇  
 （「シヨ」）「巻六 八丁表6行目」・諭エ不（「コ」ヘズ）「巻六 八丁  
 表7行目」・期（「キ」）「巻六 八丁表7行目」・期（「キ」）「巻六  
 八丁表7行目」・欲フ（「ヨロコ」ブ）「巻六 八丁表8行目」・地關ク  
 （「ヒラ」ク）「巻六 八丁表8行目」・欲フ（「ヨロコ」ブ）「巻六  
 八丁表8行目」・再（「フタ、ヒ」）「巻六 八丁表8行目」・「キ除  
 （「ヒ」テ（「ノゾ」キ）「巻六 八丁表8行目」・涵（「カン」）「巻六  
 八丁表9行目」・萬福（「フク」）「巻六 八丁裏4行目」・斯ノ文  
 （「コ」ノ）「巻六 八丁裏6行目」・昇（ル）ガ如シ（「ノボ」ル）「巻  
 六 八丁裏7行目」・席ニシテ（「セキ」）「巻六 九丁裏2行目」・轍  
 席（「テツセキ」）「巻六 九丁裏2行目」・執リ（「ト」リ）「巻六  
 九丁裏3行目」・枕（「ニシ」）「マクラ」）「巻六 十丁表4行目」・陶陶  
 （「トト」）「巻六 十丁表6行目」・糟カス（「墨書」）「巻六  
 十丁表6行目」・雷霆（「ライテイ」）「巻六 十丁表7行目」・泰山  
 （「タイ」）「巻六 十丁表7行目」・嗜慾（「墨書」）「ヨ」ク）「巻六 十丁  
 表8行目」・短（「カツ」）「巻六 十丁表4行目」・婁ロ  
 （「ロ」）「巻六 十丁表7行目」・醜（「カン」）「巻六 十丁表  
 8行目」・葛天氏（「カ」）「巻六 十丁表9行目」・無懷（「ブクハ  
 イ」）「巻六 十丁表9行目」・柳子厚（「リウ」）「巻六 十丁裏4  
 行目」・類スルコト（「ルイ」）「巻六 十丁裏6行目」・捨テ（「ス」  
 テ）「巻六 十丁裏7行目」・取テ（「ト」テ）「巻六 十丁裏9行  
 目」・当レリ（「アタ」レリ）「巻六 十丁裏9行目」・郷人（「ヒ  
 ト」）「巻六 十丁裏9行目」・売ル（「ウ」ル）「巻六 十丁裏9  
 行目」・勤ム（「ツト」ム）「巻六 十丁裏8行目」・居テ（「イ」テ）

「巻六 十三丁表6行目」・吏（「リ」）「巻六 十三丁表7行目」・禍ス  
 ハタヘ（「墨書」）「ハタハイ」）「巻六 十三丁表7行目」・暇コトヲ得不（「イ  
 トマ」）「巻六 十三丁裏2行目」・読ム（「ヨ」ム）「巻六 十三丁裏  
 6行目」・虎豹（「コ」）「巻六 十四丁表2行目」・雄耳ノミ  
 （「ユ」）「巻六 十四丁表3行目」・逝クコト也（「ユ」ク）「巻七  
 一丁表8行目」・列星（「レツ」）「巻七 一丁裏4行目」・晋楚（「シン  
 ソ」）「巻七 二丁表1行目」・怪ムニ（「アヤシム」ニ）「巻七 二丁  
 表8行目」・文弊（「ツイエ」）「巻七 二丁裏1行目」・廟食スレトモ  
 （「シ」・「食」右弊）「巻七 四丁表4行目」・朝廷（「テイ」）「巻七  
 四丁表5行目」・請テ（「コウ」）「巻七 五丁表2行目」・地ヲ「於」  
 州地ノ「之」南（「ニ」トシテ（「城」）「巻七 五丁表上欄外」・眷恋  
 セ不（「ラ」シコトハ（「ケン」カヘリミ）「レン」シタフ）「カヘリ  
 ミ」シタハズ）「巻七 五丁表7行目」・詔（「ミコト」リ）「アツテ（「ミコト  
 ノリ」）「巻七 五丁裏3行目」・昌黎（「小」）「巻七 五丁裏3行目」・  
 衣（「イ」）「巻七 六丁表5行目」・籍湜（「テイ」）「巻七 六丁表  
 6行目」・倒景（「ト」）「巻七六丁表8行目」・元豊（「ホウ」）「巻七  
 六丁裏3行目」・我カ涕（「ナシタ」）「巻七 七丁表2行目」・吾レ意  
 クハ（「ヲモ」ハクハ）「巻七 八丁表7行目」・父子（「フ」）「巻七  
 九丁表7行目」・諱（「イミナ」）「巻七 九丁裏5行目」・皇甫（「コウ  
 ホ」）「巻七 十丁表4行目」・何ノ時ヨリカ作法ノ制ヲ（「何時作法」）  
 「巻七 十丁表6行目」・康王（「コウ」）「巻七 十丁表6行目」・比  
 セバ（「ヒ」セバ）「巻七 十丁裏4行目」・刑賞（「ケイシヨ」）「巻  
 八 二丁表8行目」・良実シテ（「リヤウ」）「巻八 二丁表9行目」・  
 簡（「ラヒ」）「抜テ（「ヌイ」テ）「巻八 二丁裏2行目」・嘆息シテ（「タン」）  
 「巻八 三丁表2行目」・參軍（「サンケン」）「巻八 三丁表4行目」・  
 躬カラ（「ミズ」カラ）「巻八 三丁表6行目」・虛（「ロ」）「巻八  
 三丁表9行目」・許スニ（「キヨ」）「巻八 三丁裏2行目」・危難（「キ  
 ナン」）「巻八 三丁裏7行目」・瀟ヲ渡テ（「ロ」ハタ）「巻八 四  
 丁表7行目」・姦凶（「カンキヨ」）「巻八 四丁裏5行目」・善道ヲ（「カウ」）

〔タ、シキコトハ〕「卷八 五丁表1行目」・席〔セキ〕「卷八 五丁裏1行目」・亦亡ヒン〔ホロヒン〕「卷八 五丁裏4行目」・越〔エ〕シカトモ〔コエシ〕カトモ「卷八 七丁裏6行目」・特〔ニ〕〔コト〕ニ「卷八 十丁裏7行目」・切峻〔シユン〕「卷八 十一丁表2行目」・祖母〔ソ〕「卷八 十二丁裏4行目」・臣密〔ミツ〕「卷八 十一丁裏5行目」・辛苦〔シン〕「卷八 十二丁裏8行目」・日月星辰〔セイシン〕「卷九 一丁表9行目」・火〔ヒ〕「卷九 三丁裏7行目」・寒熱〔カン熱〕「卷九 七丁表8行目」・寒熱〔ナリ〕〔也〕爪牙ノ以テ争〔フ〕コト無シ〔也爪牙以争〕「卷九 七丁表8行目」・友賓〔ヒン〕「卷九 十丁表7行目」・主昆弟天婦〔コン〕「卷九 十丁表7行目」・郊〔コウ〕「卷九 十丁裏8行目」・筍〔シユン〕「卷九 十一丁表1行目」・廢疾〔ハイシツ〕「卷九 十二丁表4行目」・孤独〔ゴ〕「卷九 十二丁表4行目」・背〔ウシロ〕「卷九 十二丁裏4行目」・果園〔クハエン〕「卷九 十二丁裏5行目」・築キ〔キツ〕キ・右傍〔キツキ〕上欄外「卷九 十二丁裏5行目」・烹テ〔ニ〕テ「卷九 十二丁裏8行目」・遊〔ユ〕「卷九 十二丁裏8行目」・趙〔小〕「卷九 十四丁裏3行目」・翟〔テキ〕「卷九 十四丁裏9行目」・約解〔ヤク〕「卷九 十四丁裏9行目」・蒙 恬〔モ〕「卷九 十六丁表1行目」・始皇〔シコ〕「卷九 十六丁表9行目」・楚 燕〔ソエン〕「卷九 十七丁表5行目」・燕 趙 韓 魏 宋 衛〔エン長カンキソエイ〕「卷九 十七丁表5行目」・譎 戊〔タク〕「卷九 十七丁表8行目」・節 目〔セツ〕「卷十 一丁表6行目」・薦〔セン〕「卷十 四丁表3行目」・辱ク〔カタヂケナイ〕「卷十 四丁裏5行目」・匠〔小〕「卷十 四丁裏6行目」・補フニ〔ラギノ〕フ「卷十 5丁裏5行目」・軒轅〔エン〕「卷十 五丁裏9行目」・筆〔ヒツ〕「卷十七丁裏5行目」・豫州〔ヨ〕「卷十 八丁表2行目」

〔六〕 論語 四冊

〔第一冊〕

・樊遲〔かんジ〕「卷一 八丁表3行目」・回〔カイ〕「卷一 九丁表3行目」・足ハ〔タルハ〕「卷一 九丁表4行目」・焉 瘦 哉〔イズクンゾ〕「卷一 九丁裏2行目」・雍〔ヨラ〕「卷一 一丁表8行目」・夷狄〔イテキ〕「卷二 二丁表6行目」・絢〔あや〕「卷二 二丁裏8行目」・餼羊去ント欲〔よく〕「さて」〔きよ〕「卷二 五丁表5行目」・成事〔せい〕「卷二 六丁表5行目」・從者〔十〕「卷二 七丁表8行目」

〔第二冊〕

・愆アリ〔よく〕「卷三 四丁表2行目」・善ク〔ヨク〕「卷三 五丁表6行目」・弑セリ〔シイセリ〕「卷三 五丁裏7行目」・如〔モ〕シ「卷三 十一丁表3行目」・難カナ乎〔カタイ〕カナ「卷三 十二丁裏9行目」・畔カ弗ル矣〔そむく〕「そむく」上欄外「卷三 十五丁表2行目」・燕〔ヘン〕「卷三 十七丁表4行目」・進マシラ〔ス、ム〕「卷三 二十二丁表9行目」・揖シテ〔イツ〕シテ「卷三 二十二丁裏8行目」・巫馬〔フ〕「卷三 二十二丁裏8行目」・誅〔ルイ〕「卷三 二十三丁裏9行目」・戚戚〔セキ〕「卷三 二十四丁表6行目」・恭シフシテ〔ウヤ／＼シウ〕シテ「卷三 二十四丁表8行目」・鄙倍〔ヒ〕「卷三 二十五丁裏5行目」・舜禹〔シン〕「卷三 二十八丁裏2行目」・与カラ不〔あづから〕ズ「卷三 二十八丁裏3行目」・牢〔郎〕「卷三 三十二丁裏3行目」・循循然トシテ〔ジン〕「卷三 三十二丁表9行目」

〔第三冊〕

・參也〔シン〕「卷四 四丁裏6行目」・貨殖ス〔カチヨク〕「卷四 五丁表4行目」・弑センニハ〔シイスル〕「卷四 六丁裏6行目」・曾皙冉有ナリト〔セキ〕「卷四 七丁表8行目」・不敏ナリト〔ピン〕「卷四 九丁裏8行目」・浸潤之譖〔シンジユン〕「ウツタヘ」「卷四 十二丁裏7行目」・膚受之愆〔フジュ〕「ソシリ」「卷四 十一丁裏7行目」・棘子成〔キヨク〕「卷四 十二丁表3行目」・虎豹

〔兵〕〔卷四 十二丁表7行目〕・惑ヲ辨ンコトヲ〔ワキマヘン〕上欄外、〔ハキマヘン〕上欄外〕〔卷四 十四丁表7行目〕・圃〔ホ〕〔卷四 十九丁裏3行目〕・誦ラ不〔イツハ〕ラズ〕〔卷四 二十九丁表4行目〕・桓公〔カン〕〕〔卷四 二十九丁表6行目〕・道〔キヨ〕〕〔卷四 三十一丁裏4行目〕・撃ツ〔朱書〕〔ウツ〕〕〔卷四 三十四丁裏8行目〕・磬ヲ〔ケイヲ〕〕〔卷四 三十四丁裏8行目〕・廟〔レイス〕〕〔卷四 三十五丁表2行目〕

〔第四冊〕

・嘗ヨリ〔モト〕ヨリ〕〔卷八 一丁表4行目〕・遂〔ツイ〕ニ〕〔卷八 一丁表5行目〕・能ク興タツコト〔良立〕〕〔卷八 一丁表6行目〕・鄭声〔テイセイ〕〕〔卷八 三丁裏6行目〕・吾レ嘗テ〔タガイ〕テ〕〔卷八 六丁表5行目〕・飯ウヘ〔墨書〕〔ウヘ〕〕〔卷八 六丁表7行目〕・冉有〔ゼン由〕〕〔卷八 八丁表6行目〕・分崩〔方〕〕〔卷八 九丁表5行目〕・離折スレトモ〔墨書〕〔リセツ〕〕〔卷八 九丁裏5行目〕・蕭牆〔小小〕〕〔卷八 九丁裏8行目〕・征伐〔セイハツ〕〕〔卷八 十丁表2行目〕・佚遊〔イツ〕〕〔卷八 十一丁表2行目〕・損ナリ〔ソン〕〕〔卷八 十一丁表2行目〕・莞爾〔カンシ〕〕〔卷八 十四丁裏2行目〕・偃也〔ヤヱ〕〔コウ〕〕〔卷八 十四丁裏3行目〕・微子〔ビ〕〕〔卷八 二十丁裏4行目〕・未タ以テ去〔カ〕ル可カ〔ラ〕〕〔未〕ル〔シリツ〕カル〕〔卷八 二十丁裏8行目〕・擊磬〔ケイ〕〕〔卷八 二十四丁表7行目〕・仲突〔トツ〕〕〔卷八 二十四丁裏6行目〕

(七) 小学句読 四冊

・事ヲ〔於〕小学ニ從テ〔シ〕タガヒテ〕〔序 一丁裏1行目〕・扞格〔カク〕〕〔序 一丁裏2行目〕・俗ニ違テ〔タガウ〕テ〕〔序 一丁裏3行目〕・方ニ〔マサ〕ニ〕〔序 一丁裏4行目〕・以テ終ヲ成シ〔ナシ〕〕〔序 一丁裏5行目〕・塗ミチ〔墨書〕〔ミ〕チ〕〔序 一丁裏6行目〕・辞ヲ〔コト〕〕〔序 二丁表4行目〕・篤ア〔朱書〕〔ツ

ウ〕スル〔アツウ〕スル〕〔序 二丁裏4行目〕・況ヤ〔イワン〕ヤ〕〔序 三丁表1行目〕・崇ク〔タウ〕トク・右傍、〔タウ〕トク・左傍〕〔序 三丁表2行目〕・奉シテ〔ホウ〕〕〔序 三丁表6行目〕・五月望月〔十三日〕〕〔序 三丁裏5行目〕・淫ノ声〔キシ〕〕〔卷一 二丁裏3行目〕・磬〔コ〕右傍、〔ク〕左傍〕〔卷一 二丁裏3行目〕・裕慈〔ユウ〕〕〔卷一 三丁表1行目〕・惠温良〔リヨウ〕〕〔卷一 三丁表1行目〕・内則〔ソク〕〕〔卷一 三丁表4行目〕・革ヲ〔カハヲ〕〕〔卷一 三丁表6行目〕・席ニ即キ〔ツ〕キ〕〔卷一 三丁裏3行目〕・数ルコトヲ〔カトウ〕ルコトヲ〕〔卷一 三丁裏6行目〕・計ヲ〔ケイ〕〕〔卷一 三丁裏7行目〕・袴ヲ〔コ〕〕〔卷一 三丁裏8行目〕・師ヲ〔シタガイ〕〕〔卷一 三丁裏8行目〕・肆フ〔ナラフ〕〕〔卷一 三丁裏8行目〕・簡諒〔リヤウ〕〕〔卷一 三丁裏8行目〕・勺〔シヤク〕〕〔卷一 四丁表4行目〕・理ム〔ヲサ〕ム〕〔卷一 四丁裏6行目〕・物ニ方テ〔アツタテ〕〕〔卷一 四丁裏8行目〕・謀〔リ〕〔ハカリ〕右傍、〔ハカリ〕左傍〕〔卷一 五丁表1行目〕・婉婉〔エンエン〕〕〔卷一 五丁表5行目〕・韋〔シ〕〕〔卷一 五丁表6行目〕・絲繭〔シ〕〕〔卷一 五丁表6行目〕・組ミ〔ク〕ミ〕〔卷一 五丁表6行目〕・納ルヲ〔イ〕ルヲ・右傍、〔イ〕ルヲ・左傍〕〔卷一 五丁表7行目〕・煎醢〔シヨカイ〕〕〔卷一 五丁表7行目〕・絲繭〔ケン〕〕〔卷一 五丁裏3行目〕・聘スレハ〔ヘイ〕〕〔卷一 五丁裏7行目〕・傾聴〔ケイ〕〕〔卷一 六丁表1行目〕・塾党〔シク〕右傍、〔シク〕左傍、〔シク〕下欄外〕〔卷一 六丁表5行目〕・暖ニシ〔アタ、カ〕ニシ・右傍、〔アタ、カ〕ニシ・左傍〕〔卷一 六丁裏2行目〕・逸シテ〔イツ〕シテ〕〔卷一 六丁裏2行目〕・五品〔ヒン〕〕〔卷一 七丁表1行目〕・敷ケ〔シ〕ケ〕〔卷一 七丁表1行目〕・遜順〔ジユン〕〕〔卷一 七丁表4行目〕・胄子〔チウ〕子〕〔卷一 七丁表6行目〕・無虐〔ギヤク〕〕〔卷一 七丁表6行目〕・声〔セイ〕〕〔卷一 七丁表7行目〕・依リ〔ヨ〕リ〕〔卷一 七丁表7行目〕・克ク〔ヨク〕〕〔卷一 七丁表8行目〕・諧リ〔カナヘ〕リ〕

「卷一 七丁表 8 行目」・大司徒〔ト〕「卷一 八丁表 4 行目」・賓ト  
シ〔ヒン〕「卷一 八丁表 4 行目」・興ク〔ヲ〕ク「卷一 八丁  
表 4 行目」・睦姻〔ホクイン〕左傍「ホクイン」下欄外「卷一  
八丁裏 1 行目」・任恤〔シユツ〕「卷一 八丁裏 2 行目」・糾ス  
〔タ、〕ス「卷一 九丁表 2 行目」・不睦〔ホク〕「卷一 九丁表  
3 行目」・造言〔ソウ〕「卷一 九丁表 4 行目」・造ス〔ナス〕「卷  
一 九丁表 8 行目」・弟子職日先生〔シヨク〕「卷一 九丁裏 4 行  
目」・則ヒ〔ナラ〕ヒ・右傍「シタカイ」・左傍「卷一 九丁裏 5  
行目」・溫柔〔ジウ〕「卷一 九丁裏 8 行目」・驕テ〔ラゴリ〕テ  
「卷一 九丁裏 8 行目」・飾フ〔ト、ナフ〕「卷一 十丁表 5 行目」・  
暮レハ〔ク〕レハ「卷一 十丁表 7 行目」・懈不ル〔オコタラ  
ザル〕「卷一 十丁表 7 行目」・翼〔ヨク〕「卷一 十丁表 8 行目」・  
汎〔ヒロク〕「卷一 十丁裏 2 行目」・斯順モ〔シバラク〕「卷一  
十丁表 7 行目」・其ノ力ヲ竭〔ツク〕「卷一 十丁裏 1 行目」・  
設為ナシテ〔モラケ〕「卷一 十丁表 4 行目」・訶リ〔ハカ〕リ  
「卷一 十丁表 7 行目」・総シ〔ソウ〕「卷一 十丁裏 3 行目」・纓ヲ  
綏シ〔エイ〕スイ「卷一 十丁裏 3 行目」・端〔タンヒツ〕  
「卷一 十丁裏 3 行目」・笏〔コツ〕「卷一 十丁裏 3 行目」・福  
〔ヒヨク〕「卷一 十丁裏 3 行目」・毋〔キ〕「卷一 十丁裏 3 行  
目」・総〔ソウ〕「卷一 十丁表 5 行目」・紳シ〔キヲヒ〕「卷一  
十丁表 6 行目」・衿ヒ〔ム〕スヒ・右傍「ムスビ」左傍「卷一  
十丁表 6 行目」・適〔ユク〕「卷一 十丁表 8 行目」・怡バシ〔ヨ  
ロ〕コバシ「卷一 十丁裏 1 行目」・燠寒〔イクカン〕「卷一 十  
丁裏 1 行目」・疾痛〔ツウ〕「卷一 十丁裏 1 行目」・苛癢〔カ〕  
「卷一 十丁裏 1 行目」・抑リ搔ク〔サス〕リ「カク」左傍「サス  
リカク」上欄外「卷一 十丁裏 1 行目」・扶ケ持ツ〔タス〕ケ「卷  
一 十丁裏 2 行目」・盥〔クワン〕「卷一 十丁裏 5 行目」・沃爽  
〔ヨク〕「卷一 十丁裏 6 行目」・卒テ〔ヲ〕ハリテ「卷一 十丁  
裏 6 行目」・盥水〔クワン〕左傍「卷一 十丁裏 7 行目」・温ク

〔ウ〕ク「卷一 十丁裏 8 行目」・総角〔アケマキ〕「卷一 三丁  
表 2 行目」・味爽〔ハイソウ〕上欄外「ハイソウ」左傍「卷一  
三丁表 3 行目」・何クニ郷タマハント〔ムカイ〕タマハント「卷一  
三丁裏 3 行目」・趾シタマハント〔アト〕上欄外「アト」右傍「卷  
一 三丁裏 4 行目」・牀〔ユカ〕右傍「ユカ」左傍「卷一 三  
丁裏 4 行目」・斂〔ヲサ〕メ「卷一 三丁裏 4 行目」・凡〔キ〕「卷  
一 三丁裏 4 行目」・衾マヲ縣ケ〔フスマ〕上欄外「フ」スマ・左  
傍「カ」ケ「卷一 三丁裏 5 行目」・篋ニシ〔ハコ〕「卷一 三  
丁裏 5 行目」・髒ニス〔フクロ〕右傍「フクロニシ」左傍「卷一  
三丁裏 5 行目」・傳サ不〔ウツ〕サズ「卷一 四丁表 3 行目」・衣衾  
〔キン〕「卷一 四丁表 3 行目」・杖〔ク〕右傍「ク」左傍「卷  
一 四丁表 3 行目」・<sup>ヲロ</sup>タマフ〔ヲロ〕シ「卷一 四丁表 3 行  
目」・敦牟<sup>タネウツシ</sup>扈〔トンノウシイ〕「卷一 四丁表 3 行目」・敦牟〔ト  
ンノウ〕「卷一 四丁表 6 行目」・扈ハ酒器<sup>ハ</sup>ハ水<sup>ヲ</sup>盛ル〔シ〕  
「扈」左傍「イ」<sup>ヒ</sup>左傍「扈」と「<sup>ヒ</sup>」を結ぶ角筆の傍線あり「卷  
一 四丁表 7 行目」・応唯〔シ〕ヲウ「イシ」「卷一 四丁裏 1 行  
目」・周旋スルニ〔セン〕「卷一 四丁裏 1 行目」・旋転〔セン〕  
「卷一 四丁裏 3 行目」・謹慎〔シン〕「卷一 四丁裏 3 行目」・齊莊  
スルヲ〔セイ〕「卷一 四丁裏 3 行目」・噍〔ナハヒ、〕「卷一  
四丁裏 4 行目上欄外」・咳〔ヒハフキ〕「卷一 四丁裏 4 行目上欄  
外」・欠伸〔アクヒ〕「卷一 四丁裏 4 行目上欄外」・跛〔カスカ  
イ〕「卷一 四丁裏 4 行目上欄外」・倚〔ヨリヤウ〕「卷一 四丁裏  
4 行目上欄外」・唾〔ツハキ〕「卷一 四丁裏 4 行目上欄外」・洩  
〔ハナタス〕「卷一 四丁裏 4 行目上欄外」・嚏シ〔テイ〕「卷一  
四丁裏 4 行目」・咳〔ガイ〕「卷一 四丁裏 4 行目」・欠シ伸シ〔ケ  
ン〕シ・欠」右傍「卷一 四丁裏 4 行目」・倚シ〔イ〕右傍「イ」  
左傍「卷一 四丁裏 4 行目」・睇視〔テイ〕シ」右傍「テシ」左傍  
「卷一 四丁裏 4 行目」・音弟〔テイ〕「卷一 四丁裏 5 行目」・癢ケ  
レトモ〔カユ〕ケレトモ・右傍「カユ」ケレトモ・左傍「卷一

五丁表1行目・袒裼（タンセキ）〔卷二 五丁表1行目〕・ケ不  
 （カ、ケ）ズ）〔卷二 五丁表2行目〕・褻（ケ）〔卷一 五丁表2  
 行目〕・衣裳（キ）ン）〔卷二 五丁表2行目〕・垢ケハ（アカス  
 ケ）ハ・右傍、〔アカ〕左傍）〔卷二 五丁表5行目〕・唾涕（ダテイ）  
 〔卷二 五丁表5行目〕・灰（ハイ）〔卷二 五丁表6行目〕・衣装  
 （正）〔卷二 五丁表6行目〕・垢ツケハ（アカ）右傍、〔アカ〕左  
 傍）〔卷二 五丁表6行目〕・澣ヒ（アラ）ヒ）〔卷二 五丁表6行  
 目〕・裂クレハ（サク）レハ・右傍、〔サ〕クレハ・左傍）〔卷二  
 五丁表6行目〕・剝シテ（シン）〔卷二 五丁表6行目〕・共ナ（ミ  
 ナ）〔卷二 五丁裏1行目〕・時レニ帥フ（コレ）ニ）〔卷二 五丁  
 裏1行目〕・昏（クレ）〔卷二 五丁裏3行目〕・清ハ以（テ）其  
 （ノ）涼ヲ致ス（清）と「涼」とを結ぶ角筆の傍線あり）〔卷二 五  
 丁裏4行目〕・告シ（モウ）シ）〔卷二 五丁裏5行目〕・業（キヤ  
 ウ）〔卷二 五丁裏5行目〕・深愛（シンアイ）〔卷二 五丁裏8行  
 目〕・愉色（ユ）〔卷二 六丁表1行目〕・属属（ソク）〔卷二  
 六丁表2行目〕・勝へ弗ルガ如ク（タ）ヘザル）〔卷二 六丁表3行  
 目〕・蔽威儼恪（ゲイ）「蔽」の左傍、「カク」「恪」の右傍）〔卷二  
 六丁表3行目〕・祭祀（サイシ）〔卷二 六丁裏3行目〕・尸（シ）  
 〔卷二 六丁裏3行目〕・深（キ）ニ臨（マ）不（フカ）キ、「ノソ」  
 マズ）〔卷二 六丁裏7行目〕・些ラ不（ソシ）ラズ）〔卷二 六丁裏  
 7行目〕・在シタマヘハ（イマス）〔卷二 七丁表1行目〕・許ス  
 （ユル）ス）〔卷二 七丁表5行目〕・示メス（シ）メス）〔卷二  
 七丁表7行目〕・有セ不（ユウ）セズ）〔卷二 七丁表7行目〕・逆  
 （フ）コト勿レ（サカラ）フコト）〔卷二 七丁表7行目〕・怠（ル）  
 コト勿レ（ヲコタル）コト）〔卷二 七丁裏3行目〕・著（嗜）カ不  
 （ス）カズ・右傍、〔ス）カズ・左傍）〔卷二 七丁裏5行目〕・著  
 （嗜）（タシマス）〔卷二 七丁裏5行目〕・代シメタマヘハ（カヘ）  
 シメタマヘハ）〔卷二 七丁裏7行目〕・使ユ（ヲシ）ユ）〔卷二  
 七丁裏8行目〕・蓄へ（タクハヘ）上欄外、〔タクハ）へ・左傍）〔卷

二 八丁表4行目〕・仮サ不（カ）サズ）〔卷二 八丁表4行目〕・佩  
 幌（ハイセイ）〔卷二 八丁表6行目〕・猷ツル（タテマ）ツル）〔卷  
 二 八丁表6行目〕・蘭（サイ）〔卷二 八丁表6行目〕・藏メテ  
 （ヲサ）メテ）〔卷二 八丁裏1行目〕・諾（タク）〔卷二 八丁裏  
 7行目〕・起ツ（タツ）〔卷二 八丁裏7行目〕・唯シテ（イ）〔卷  
 二 八丁裏7行目〕・抱（フトコロ）〔卷二 八丁裏8行目〕・立チ  
 タマヘハ（タチタマヘ）ルトキ）〔卷二 九丁表6行目〕・膝（ヒ  
 サ）〔卷二 九丁表7行目〕・唯シテ（イ）〔卷二 九丁表7行目〕・  
 走テ（ハシツ）テ）〔卷二 九丁表8行目〕・投ケ（ナ）ケ・右傍、  
 「ナケ）左傍）〔卷二 九丁表9行目〕・趨マ不（ユルマス）〔卷二  
 九丁裏1行目〕・過（ギ）不）〔卷二 九丁裏2行目〕・復ルニ（カヘ）  
 ルニ）〔卷二 九丁裏2行目〕・方ヲ易へ不（ミ）チ・右傍、「ミチ」  
 左傍）〔卷二 九丁裏2行目〕・視フルコト（ナゾロフ）上欄外、「ナ  
 ソラフル）左傍）〔卷二 十丁表上欄外〕・婢子若ヒ庶子（ヒ）「婢  
 の左傍、「ヲヨ）ヒ・「若」の右傍）〔卷二 十丁表2行目〕・由リ（ル）  
 朱書（ヨ）リ）〔卷二 十丁表5行目〕・宜（ロシ）ミスレトモ（ヨ）  
 ロシ・右傍、「ヨ）ロシ・左傍）〔卷二 十丁表7行目〕・没シテ（ヲ  
 ハル）〔卷二 十丁裏1行目〕・寝処（シンシヨ）〔卷二 十丁裏3  
 行目〕・尽ク（コト）ク）〔卷二 十丁裏8行目〕・請へ（コ）へ）  
 〔卷二 十二丁表2行目〕・祭祀（シ）〔卷二 十二丁表2行目〕・冢  
 婦（テウ）〔卷二 十二丁表2行目〕・友（ユウ）右傍、「ユウ」  
 左傍）〔卷二 十二丁表5行目〕・怠ルコト（ヲコタル）〔卷二 十  
 一丁表5行目〕・適ケト命シタマハ不（ユ）ケ）〔卷二 十一丁裏2  
 行目〕・適子庶子（テキシシヨ）〔卷二 十一丁裏4行目〕・外ニ  
 「於）舎テ（ライテ）〔卷二 十二丁裏6行目〕・舎テ（シヤシ）テ）  
 〔卷二 十二丁裏6行目〕・宗族（シヨク）右傍、「シヨク）左傍）〔卷  
 二 十二丁裏7行目〕・忘レ（ワス）レ）〔卷二 十二丁表2行目〕・  
 起テ（タツ）テ・右傍、「タツ）テ・左傍）〔卷二 十二丁表6行目〕・  
 寧口孰諫セヨ（ツラ）ク）「寧」の右傍、「シユク）〔卷二 十二丁

表7行目・與ヨリ〔ヨリ〕〔卷二 二十二丁表8行目・撻チタマヒテ（ムチ）〕〔卷二 二十二丁裏1行目・三諫シテ（カン）〕〔卷二 二十二丁裏4行目・復タ（朱書）命シテ（マ）タ〕〔卷二 二十二丁裏4行目・号泣（ガウ久）〕〔卷二 二十二丁裏5行目・翔ラ不（カケ）ラズ〕〔卷二 二十二丁裏6行目・惰タラ不（ヲコトラ）ズ〕〔卷二 二十二丁裏6行目・容ラレ不ルガ如シ（イレ）ラレザルガゴトシ〕〔卷二 二十二丁裏6行目・闕シキミヲ（朱書）（シキミ）上欄外〕〔卷二 二十二丁裏7行目・変スルニ至（ラ）不（ヘン）〕〔卷二 二十二丁裏7行目・冒ルニ（ノノシル）〕〔卷二 二十二丁裏7行目・過（ギ）タマヘバ（ス）ギタマヘバ〕〔卷二 二十二丁裏8行目・貽スコトラ（ノコス）〕〔卷二 二十三丁裏4行目・羞辱（シヨク）〕〔卷二 二十三丁裏5行目・履テ（フ）ンテ・右傍、「フン」テ・左傍〕〔卷二 二十三丁裏8行目・祭統（トウ）〕〔卷二 二十四丁表3行目・具備ハル（ク）〕〔卷二 二十四丁表4行目・備ナル（墨書）（ビナ）ル〕〔卷二 二十四丁表4行目・備ハレハ（ソ）ナハレハ〕〔卷二 二十四丁表6行目・齋ス（イミ）ス〕〔卷二 二十四丁裏2行目・齊シ（サイ）〕〔卷二 二十四丁裏2行目・衆コノミ（墨書）タマフ（コノミ）〕〔卷二 二十四丁裏3行目・愛ヲ致セハ（アイ）、「イタシ）〕〔卷二 二十四丁裏7行目・嘆息（タンソク）〕〔卷二 二十五丁表1行目・刑トル（ノツ）トル〕〔卷二 二十五丁表6行目・怒（カク）〕〔卷二 二十五丁表7行目・心志著欲（ギ）・著（右傍）〕〔卷二 二十五丁表7行目・著（アラハル）〕〔卷二 二十五丁表7行目・丘ノ木（ヲカノ）左傍、「ヲカ」左傍〕〔卷二 二十五丁表7行目・宮室（久）〕〔卷二 二十五丁裏上欄外・仮ラ不（カ）ラズ〕〔卷二 二十五丁裏7行目・著（チヨ）〕〔卷二 二十五丁裏7行目・謂テ（イツ）テ〕〔卷二 二十五丁裏8行目・危カラ不（アヤウ）カラズ〕〔卷二 十六丁裏2行目・道ハ不（イハ）ズ〕〔卷二 十六丁裏7行目・祭祀（シ）〕〔卷二 十七丁表4行目・続コト（ツク）〕〔卷二 十七丁裏4行目・臨（ミ）タマフ（ノソ）ミタマフ〕〔卷二 十七丁

裏4行目・者ハ（墨書）（ハ）〕〔卷二 十七丁裏5行目・悖フト（サカウ）左傍、「タカフ」左傍、「サカウ」上欄外〕〔卷二 十七丁裏5行目・到シテ（キハ）〕〔卷二 十八丁表1行目・厭（ケン）〕〔卷二 十八丁表2行目・醜ニ在（タクイ）右傍、「シウ」左傍〕〔卷二 十八丁表5行目・則（スナハ）チ）〕〔卷二 十八丁表6行目・刑ス（ケイ）ス〕〔卷二 十八丁表6行目・除カレハ（ノソカ）ザレバ〕〔卷二 十八丁表6行目・四肢（シ）肢）の右傍〕〔卷二 十八丁裏2行目・博奕シ（ハクエキ）〕〔卷二 十八丁裏3行目・従ニシテ（ホシヒモノ）〕〔卷二 十八丁裏5行目・鬪狼（トウコン）左傍、「タ、カイフシ」上欄外〕〔卷二 十八丁裏6行目・身也ト（墨書）者父母之遺体也（身「トハ）〕〔卷二 十九丁表1行目・遂ケ不レハ（トケ）ザレハ）〕〔卷二 十九丁表1行目・戚ハサ（朱書）ハイ（ワサハイ）〕〔卷二 十九丁表4行目・勇ミ（イサ）ミ・右傍「イサミ」左傍〕〔卷二 十九丁表4行目・属（タクイ）右傍、「ソク」左傍〕〔卷二 十九丁表7行目・将（ニ）適ントシテ「将」ハ（マサ）ニ）〕〔卷二 十九丁裏4行目・宿ニ（ヨベニ）右傍、「ツト」ニ・左傍〕〔卷二 十九丁裏4行目・齊イ戒シ（サイ）〕〔卷二 十九丁裏4行目・外寝（シン）〕〔卷二 十九丁裏4行目・揖シタマヒテ（イツ）〕〔卷二 二十丁裏1行目・与ニ（トモ）〕〔卷二 二十丁裏1行目・前へ後ロ（ウシロ）〕〔卷二 二十丁裏2行目・齊テ揖サケ（モスソラロヒ）テ、「ヒツサケ）〕〔卷二 二十丁表2行目・屏タマヒテ（ヲサメ）タマヒテ）〕〔卷二 二十丁表2行目・鼻息（ハナキ）〕〔卷二 二十丁表4行目・逞シタマヒテ（ユルシ）タマヒテ）〕〔卷二 二十丁表5行目・怡恰タリ（イ）〕〔卷二 二十丁表5行目・右傍、「イ」怡・第一字目〕〔卷二 二十丁表5行目・階ヲ没シテ（ツク）シテ）〕〔卷二 二十丁表5行目・一 等ヲ降（タ）リタマヘバ）〕〔卷二 二十丁表5行目・復リタマヒテモ（カ）ヘリタマヒテモ）〕〔卷二 二十丁表6行目・鞞如タリ也（シクセン）〕〔卷二 二十丁表6行目・乘（音読符）



服（音読符）〔正〕乗 右傍 〔正〕乗 左傍 〔卷二 二十一丁裏3行目〕・核ネ（サネ）〔卷二 二十一丁裏5行目〕・果ヲ（クダモノ）〔卷二 二十一丁裏5行目〕・之ヲ蓄ヒ（カイ）右傍、〔カ〕イ・左傍 〔卷二 二十二丁表2行目〕・之ヲ薦メタマフ（スス）メタマフ 〔卷二 二十二丁表2行目〕・熟シテ（シユク）シテ・右傍 〔ムマク〕シテ・左傍 〔卷二 二十二丁表2行目〕・疾シ（墨書）タマフニ（疾（スル）時者）〔卷二 二十二丁表6行目〕・神ヲ施（シ）タマフ（ホドコサ）ンモ 〔卷二 二十二丁表7行目〕・駕ヲ俟（タ）不（コフ）右傍、〔エマタ〕ズ・左傍 〔卷二 二十二丁裏1行目〕・将ケ順ヒ（ウ）ケ 〔卷二 二十三丁裏1行目〕・匡シ（タ、シ）〔卷二 二十二丁裏4行目〕・陳テ（ノヘ）テ 〔卷二 二十三丁裏1行目〕・其ノ言ヲ（コト） 〔卷二 二十三丁裏5行目〕・言責（ゲ）ンセキ 〔卷二 二十三丁裏5行目〕・玉蠟（シヨク） 〔卷二 二十三丁裏6行目〕・烈女（レツ） 〔卷二 二十三丁裏7行目〕・二夫（ク）天 左傍 〔卷二 二十三丁裏7行目〕・行媒（中立ヨメ入り也）媒 右傍、〔バイ）媒 左傍 〔卷二 二十四丁表3行目〕・召フ（ヨ）フ 〔卷二 二十四丁表5行目〕・迎テ（ムカヘ）テ 〔卷二 二十四丁裏2行目〕・日（イハク） 〔卷二 二十四丁裏2行目〕・若チ（ナン）チ 〔卷二 二十四丁裏3行目〕・嗣シメヨ（ツガ）シメヨ 〔卷二 二十四丁裏3行目〕・唯（イ）右傍 〔卷二 二十四丁裏3行目〕・夙夜（シクヤ）左傍 〔卷二 二十四丁裏7行目〕・敬シテ（ケ）イシテ 〔卷二 二十四丁裏7行目〕・幌（セイ） 〔卷二 二十五丁表1行目〕・般ン（朱書）革（ハ）ン 〔卷二 二十五丁表2行目〕・宗テ（タツトム） 〔卷二 二十五丁表3行目〕・聴ケ（キ）ケ 〔卷二 二十五丁表3行目〕・相ヒ見ルハ（ア）ヒ 〔卷二 二十五丁表3行目〕・異姓（イ） 〔卷二 二十五丁表8行目〕・遠カルニ（トホ）サルニ 〔卷二 二十五丁表8行目〕・直（音読符）ク信（音読符）〔チヨク）〔卷二 二十五丁裏1行目〕・腆カラ不ルコト（コトナコフ）

〔卷二 二十五丁裏1行目〕・斉シフシテ（ヒト）シフシテ 〔卷二 二十五丁裏2行目〕・瀧浴（ヒヨクヨク） 〔卷二 二十六丁表1行目〕・塾ヲ（至）右傍、〔シ）左傍 〔卷二 二十六丁表3行目〕・楽（ガク） 〔卷二 二十六丁裏3行目〕・序ナレハ（ツイテ） 〔卷二 二十六丁裏3行目〕・篋（音読符）筒（音読符） 〔卷二 二十七丁表1行目〕・婢妾（ヒ）右傍、〔ヒ）左傍 〔卷二 二十七丁表3行目〕・鬮ニシ（フク足） 〔卷二 二十七丁表4行目〕・簞（テン） 〔卷二 二十七丁表4行目〕・相（ヒ）授クレハ（ア）ヒ 〔卷二 二十七丁裏2行目〕・坐ツキ（ヒサマ）ツキ 〔卷二 二十七丁裏3行目〕・乞（音読符）仮（音読符）（キカ） 〔卷二 二十七丁裏8行目〕・指サ不（ユ）ピササズ 〔卷二 二十八丁表2行目〕・擁シ蔽フ（ヨウシ）ヲ、フ 〔卷二 二十八丁表3行目〕・伏（フ）ク（スル） 〔卷二 二十八丁表6行目〕・嘯カ不（ウソム）カズ 〔卷二 二十八丁表8行目〕・験ス（シル）ス・右傍、〔ケン）左傍 〔卷二 二十八丁裏4行目〕・参リ（マジハリ） 〔卷二 二十八丁裏4行目〕・喪フ（ウシナ）フ 〔卷二 二十九丁表1行目〕・悪疾（シツ） 〔卷二 二十九丁表1行目〕・燭（トモシヒ） 〔卷二 二十九丁表2行目〕・竊盜（セツタウ） 〔卷二 二十九丁表7行目〕・更レハ（フレハ） 〔卷二 二十九丁裏3行目〕・見ラハナルコト（アラ）ハナルコト 〔卷二 二十九丁裏8行目〕・徐ク（ヤウヤク） 〔卷二 三十丁表5行目〕・疾（ト）ク 〔卷二 三十丁表5行目〕・見マ（墨書）ヘテハ（マ）ミヘテハ 〔卷二 三十丁表7行目〕・肩（カタ） 〔卷二 三十丁裏3行目〕・執（トル） 〔卷二 三十丁裏6行目〕・路チヲ越ヘテ（ミチ）、コヘ）テ 〔卷二 三十一丁表1行目〕・逢ヘハ（アヘ）ハ 〔卷二 三十一丁表1行目〕・拱ス（キヤウ）ス 〔卷二 三十一丁表2行目〕・郷フ（ムカ）フ 〔卷二 三十二丁表4行目〕・提携（音読符）シタマヘバ（テイケイ） 〔卷二 三十一丁表6行目〕・負ガゴトク（ヲフ）ガゴトク 〔卷二 三十一丁表6行目〕・奉ク（サ、ク） 〔卷二 三十一丁表6行目〕・啜ヲ辟テ（クチワキ）

右傍、「カタヨセ」テ・左傍、「クチワキヲカタヨセテ」〔卷二 三十一丁表6行目〕・劍〔ケン〕〔卷二 三十一丁表6行目〕・手〔テ〕右傍、「テ」左傍〔卷二 三十二丁表6行目〕・詔リタマヘハ〔カタ〕リタマヘハ・右傍、「カタリ」タマヘハ・上欄外〕〔卷二 三十二丁表7行目〕・拘テ〔カ、ヘ〕テ・右傍、「カ、ケ」テ・右傍、「カ、ケ」テ・左傍〕〔卷二 三十一丁裏2行目〕・塵〔チリ〕〔卷二 三十一丁裏2行目〕・袂〔タ〕モト〕〔卷二 三十一丁裏2行目〕・上〔ウヘ〕〔卷二 三十一丁裏2行目〕・扱ス〔キウス〕〔卷二 三十一丁裏3行目〕・郷ヘテ〔ムカ〕ヘテ〕〔卷二 三十一丁裏3行目〕・箕〔チリトリ〕〔卷二 三十一丁裏3行目〕・容チ〔墨書〔カタ〕チ〕〔卷二 三十一丁裏6行目〕・作ルコト母レ〔ハスルコト〕〔卷二 三十一丁裏6行目〕・即ント〔ツカ〕ント・右傍、「ツカン」ト・左傍〕〔卷二 三十一丁裏6行目〕・雁テ〔カ、ケ〕テ〕〔卷二 三十一丁裏7行目〕・撥スルコト〔ハツ〕スルコト〕〔卷二 三十二丁表1行目〕・蹶スルコト〔ケツ〕スルコト〕〔卷二 三十二丁表1行目〕・坐ツイテ〔ヒサマ〕ツイテ〕〔卷二 三十二丁表1行目〕・書策〔サク〕〔卷二 三十二丁表1行目〕・傳言スルコト〔サンケン〕〔卷二 三十二丁表4行目〕・劓説〔サウセツ〕〔卷二 三十二丁表6行目〕・雷同〔ライ〕〔卷二 三十二丁表6行目〕・侍坐〔シ〕〔卷二 三十二丁表8行目〕・起ツ〔タ〕ツ〕〔卷二 三十二丁裏1行目〕・客ク〔墨書〕〔カ〕ク〕〔卷二 三十二丁裏3行目〕・叱〔ハ〕不〔イサハ〕ズ〕〔卷二 三十二丁裏3行目〕・唾ツハキ〔朱書〕ハカ不〔ツワキ〕〔卷二 三十二丁裏4行目〕・蚤莫〔サウバク〕〔卷二 三十二丁裏5行目〕・杖〔テク〕〔卷二 三十二丁裏5行目〕・更メタマヘハ〔アラタメ〕タマヘハ〕〔卷二 三十二丁裏8行目〕・端〔ハシ〕〔卷二 三十二丁裏8行目〕・偶坐〔サ〕〔卷二 三十三丁表1行目〕・復スコト〔モフ〕スコト〕〔卷二 三十三丁表2行目〕・屏テ〔シリソイ〕テ〕〔卷二 三十三丁表3行目〕・貳〔ルモノト〕雖〔ソヘ〕ルモノトイヘドモ〕〔卷二 三十三丁裏

1行目〕〔二段化〕・願望〔コ〕右傍、「コホウ」左傍〕〔卷二 三十三丁裏3行目〕・等〔シナ〕〔卷二 三十三丁裏5行目〕・踰レハ〔コ〕エレハ〕〔卷二 三十三丁裏5行目〕・燕見〔ケン〕〔卷二 三十三丁裏5行目〕・遇テ〔アフ〕テ〕〔卷二 三十三丁裏5行目〕・画クセ不〔クワク〕〔卷二 三十四丁表1行目〕・命ヲ將ヲコナ〔墨書〕フ〔ヲコ〕ナフ〕〔卷二 三十四丁表2行目〕・ギツカハ不ル〔ヲウギ〕ツカハザル〕〔卷二 三十四丁表2行目〕・擁〔イダ〕ク・右傍、「イダ」左傍〕〔卷二 三十四丁表5行目〕・投〔トウ〕右傍、「トウ」左傍〕〔卷二 三十四丁表5行目〕・齒〔ヨハイ〕〔卷二 三十四丁裏1行目〕・相ヒ踰ヘ不〔アヒ〕コ〕ヘズ〕〔卷二 三十四丁裏2行目〕・雁行〔ガンカウ〕〔卷二 三十四丁裏2行目〕・堤撃〔ケイ〕〔卷二 三十四丁裏4行目〕・頰〔ハ〕ン・右傍、「ハン」左傍〕〔卷二 三十四丁裏4行目〕・并セ〔アハ〕セ・右傍、「アハ」セ・左傍〕〔卷二 三十四丁裏4行目〕・耆老〔キラウ〕〔卷二 三十四丁裏6行目〕・徒行〔ト〕〔卷二 三十四丁裏6行目〕・切切〔セツ〕第一字目〔切〕左傍〕〔卷二 三十五丁表7行目〕・邦〔クニ〕右傍、「クニ」左傍〕〔卷二 三十五丁裏6行目〕・諒〔マコト〕〔卷二 三十五丁裏8行目〕・損者〔ソン〕〔卷二 三十五丁裏8行目〕・欲〔ヨロコビ〕〔卷二 三十六丁表7行目〕・全フスル〔マツト〕フスル〕〔卷二 三十六丁表7行目〕・門毎ニ〔コト〕〔卷二 三十六丁裏1行目〕・寝門〔シン〕〔卷二 三十六丁裏1行目〕・席ヲ為テ〔シイ〕テ・右傍、「シイテ」上欄外〕〔卷二 三十六丁裏2行目〕・迎フ〔ムカヘ〕〔卷二 三十六丁裏2行目〕・肅シテ〔シク〕〔卷二 三十六丁裏2行目〕・登ルコトトヲ〔ノホ〕ルコトヲ〕〔卷二 三十六丁裏7行目〕・歩ヲ連ネテ〔ホウツラ〕ネテ〕〔卷二 三十六丁裏8行目〕・聚メ〔アツ〕メ〕〔卷二 三十六丁裏8行目〕・拾ルニ〔ワタ〕ルニ〕〔卷二 三十六丁裏8行目〕・拳〔キヨ〕〔卷二 三十七丁表6行目〕・治〔チ〕〔卷二 三十七丁裏2行目〕・居テ〔イ〕テ〕〔卷二 三十七丁裏2行目〕・行〔訓読符〕成

テ(「イ」キナシテ)「卷二 三十七丁裏3行目」・争ムル(「イサム」ル)「卷二 三十七丁裏7行目」・就キ(「ツ」キ)「卷二 三十八丁表4行目」・犯スコト(「ヲカ」スコト)「卷二 三十八丁表4行目」・隠スコト(「カク」スコト)「卷二 三十八丁表4行目」・勤ヲ服シテ(「ツトメル」)「卷二 三十八丁表4行目」・子コ(「コ」)「卷二 三十八丁裏2行目」・争(ハ)弗(シバアル)可(カラ)不(アラソハズ「ンハアル」ベカラズ)「卷二 三十八丁裏2行目」・犯スコト(「ヲカス」)「卷二 三十八丁裏4行目」・生ミタマヒ(「ウ」ミタマヒ)「卷二 三十八丁裏6行目」・長セ不(チャウセ「スト」)「卷二 三十八丁裏7行目」・食ヒタマフ(「ヤ」シナヒタマフ)「卷二 三十八丁裏7行目」・生マレ不(「ウ」マレズ)「卷二 三十八丁裏7行目」・婉ナレハ(「エン」)「卷二 三十九丁裏2行目」・香艾(「キカイ」)「卷二 四十丁表6行目」・宣成(「クウシヤウ」)「卷二 四十丁裏4行目」・克ク(「ヨ」ク)「卷二 四十丁裏6行目」・察シテ(「サツ」)「卷二 四十丁裏6行目」・也者(ト「ハ」)「卷三 一丁裏2行目」・枝ダ(ナリ)「也」(「ナ」リ)「卷三 一丁裏2行目」・敬セ不與(「ケイセズ「ヤ」」)「卷三 一丁裏2行目」・仰タヒ(「シタイ」)「卷三 一丁裏5行目」・聖模(「ボ」)右傍、「ボ」左傍)「卷三 一丁裏5行目」・賢範(「ハン」)「卷三 一丁裏5行目」・景猶向(角筆にて丸く囲む、熟語であることを示す)「卷三 一丁裏6行目」・怠(「タイ」右傍、「タイ」左傍)「卷三 一丁裏7行目」・勝ツ(「カ」ツ)「卷三 一丁裏7行目」・怠(「タイ」)「卷三 一丁裏7行目」・滅フ(「ホロフ」)「卷三 一丁裏7行目」・凶シ(「ア」シ)「卷三 一丁裏8行目」・亡(「フ」)「亡」(「フ」)「卷三 二丁表1行目」・傲(リ)「(「ヲゴリ」)「卷三 二丁表5行目」・従ニ(ス)可(シ)「(「ホシイ」)「ママニスベシ」)「卷三 二丁表6行目」・極ム(墨書)「(「キハ」ム)」「卷三 二丁表6行目」・狎レトモ(「ナル」レ「とモ」)「卷三 二丁表8行目」・憎メトモ(「ニクメ」ドモ)「卷三 二丁裏1行目」・積メトモ(「ツ」メドモ・右傍、「ツメ」ドモ)「卷三 二丁裏2行目」・散シ(「サン」

シ)「卷三 二丁裏2行目」・安スレトモ(「ヤ」スンスレドモ)「卷三 二丁裏2行目」・遷ル(「ウツ」ル・右傍、「ウツ」ル・左傍)「卷三 二丁裏2行目」・苟モ(「イヤシ」クモ)「卷三 二丁裏5行目」・難ニ(「ナン」)「卷三 二丁裏5行目」・闊(「タ、カイ」)「卷三 二丁裏6行目」・質スコト(「ナ」スコト)「卷三 二丁裏7行目」・承ルカ如シ(「ウ」クルガゴトシ)「卷三 三丁表5行目」・大祭(「サイ」)「卷三 三丁表5行目」・施スコト(「ホトコス」)「卷三 三丁表6行目」・執ルニ(「トル」ル)「卷三 三丁表7行目」・與スルニ(「クミ」スルニ)「卷三 三丁表7行目」・夷敵ニ(「イテキニ」)「卷三 三丁表8行目」・蛮貊(「ハン」)「卷三 三丁裏3行目」・邦(「クニ」)「卷三 三丁裏3行目」・也(「ヤ」)「卷三 三丁裏4行目」・言ニハ(墨書)「(「イフニ「ハ」」)「卷三 三丁裏7行目」・事ニハ(「ワサニハ」)右傍、「ワサ」左傍)「卷三 三丁裏7行目」・忿ニハ(「イカリニハ」)「卷三 三丁裏8行目」・客貌(「ホウ」)「卷三 四丁表3行目」・踰へ不(「コ」ヘズ)「卷三 四丁表8行目」・侵(シ)侮ラ不(「ヲカ」シ・右傍、「ヲカ」シ・左傍、「アナトラ」ズ)「卷三 四丁表8行目」・狎レ不(「ナ」レズ)「卷三 四丁表8行目」・留メ不(「トメ」ズ)「卷三 四丁裏4行目」・匿礼(「トク」)「卷三 四丁裏4行目」・接へ不(「マシ」ヘズ)「卷三 四丁裏4行目」・惰慢(「ダ」右傍、「ダ」左傍)「卷三 四丁裏4行目」・設ケ不(「モフ」ケズ)「卷三 四丁裏5行目」・鼻口(「ビ」)右傍、「ビ」左傍)「卷三 四丁裏5行目」・行(「オコナ「フ」」)「卷三 四丁裏6行目」・君子(「シ」)「卷三 五丁表3行目」・正ス(「タ、ス」)「卷三 五丁表4行目」・懐(「メグミ」)「卷三 五丁表8行目」・恵ヲ懐(「フ」)「(「恵懐」という熟語であることを示すため角筆にて二字を丸く囲む線あり)「卷三 五丁裏2行目」・客体(「タイ」)「卷三 五丁裏6行目」・視スルコト(「シ」スルコト)「卷三 六丁表2行目」・怠荒(「タイカウ」)「卷三 六丁表2行目」・倨ルコト母レ(「ヲゴ」ルコトナカレ)「卷三 六丁表2行目」・跛スルコト母レ(「カタヨルコト(「ナカレ」)・右

傍、「カタヲチ」下欄外)「卷三 六丁表2行目」・箕(「ミノ」左傍、  
 「ミノ」上欄外)「卷三 六丁表3行目」・斂ルニ(「ヲ」サムルニ)「卷  
 三 六丁表3行目」・祖(ヌグコト)母レ(「カタヌク」)「卷三 六丁  
 表3行目」・襖(ヌグコト)母レ(「カタヌク」)「卷三 六丁表3行  
 目」・裳(「モ」)「卷三 六丁表4行目」・襦ルコト母レ(「カ、ク」  
 ルコトナカレ・左傍、「カ、ク」ルコトナカレ・上欄外)「卷三 六  
 丁表4行目」・舎(「シヤ」)「卷三 六丁裏1行目」・戸(「トホソ」)  
 「卷三 六丁裏7行目」・視瞻(「シセシ」)「卷三 六丁裏7行目」・回  
 スコト(「メ」クラスコト・右傍、「メクラ」スコト・左傍)「卷三  
 六丁裏7行目」・闔テ(「トサシテ」)「卷三 六丁裏8行目」・遂ルコ  
 ト(「トケル」コト)「卷三 六丁裏8行目」・踏ムコト母レ(「フ」  
 ムコトナカレ)「卷三 七丁表3行目」・衣ヲ着テ(コロ「モ」ヲ  
 「カ、」ゲテ)「卷三 七丁表3行目」・隅(「スミ」)「卷三 七丁表  
 3行目」・唯諾(「イ」)「卷三 七丁表4行目」・舒遲(「チヨ」)「卷  
 三 七丁表6行目」・齊イ(墨書)端ク(墨書)ス(「サイソク」右傍、  
 「サイソク」左傍)「卷三 七丁表7行目」・端クシ(「タン」)「卷三  
 七丁表8行目」・止ミ(「ヤ」ミ・右傍、「ヤ」ミ・左傍)「卷三 七  
 丁表8行目」・直クシ(「ナヲ」クシ)「卷三 七丁裏1行目」・肅ミ  
 (「ツ、シミ」)「卷三 七丁裏1行目」・莊ニス(「カサリ」)「卷三 七  
 丁裏1行目」・戸(「シ」)「卷三 七丁裏4行目」・密(「ミツ」)「卷  
 三 七丁裏5行目」・窺ハ不レ(「ウカ、ハ」ザレ)「卷三 七丁裏5  
 行目」・旁ク(「アマネク」右傍、「アマネク」左傍)「卷三 七丁裏  
 5行目」・狎レ(「ナ」レ)「卷三 七丁裏6行目」・戯色(「キヨ」)「卷  
 三 七丁裏6行目」・拔求(「バツ」)「卷三 七丁裏7行目」・循フ  
 (「コト」母レ(「シタ」ガフコトナカレ)「卷三 八丁表2行目」・測  
 ルコト母レ(「ハカル」コトナカレ)「卷三 八丁表2行目」・測ルコ  
 ト母レ(「ノ、シ」ルコトナカレ)「卷三 八丁表3行目」・成(「シ  
 ヤウ」)「八丁表5行目」・内顧(「カヘリ」ミ)「卷三 八丁表6  
 行目」・親指シタマヘ(「ユ」ビ)「卷三 八丁表6行目」・親指シタ

マハ不(「シンシセス」)「卷三 八丁表6行目」・姦マシ(「カタマシ」)  
 「卷三 八丁表8行目」・傾ムケハ(「カタムケハ」)「卷三 八丁表8  
 行目」・姦マシ(「カタカマシ」)「卷三 八丁表8行目」・唯(「タ、」  
 「卷三 八丁裏5行目」・明ニ(「アカラサ」マ)ニ)「卷三 八丁裏6  
 行目」・侃侃如タリ(「カン」)「卷三 八丁裏7行目」・闔闔如タリ  
 (「キン」)「卷三 八丁裏8行目」・言(「フ」)「イ」フ)「卷三 九丁  
 表4行目」・齋(ヒト「シ」)「卷三 九丁裏2行目」・狎(「レ」タリ  
 ト(「ナ」レタリト)「卷三 九丁裏2行目」・負(「フ」)「ヨフ」右傍、  
 「ナフ」左傍)「卷三 九丁裏5行目」・迅雷(「シンライ」)「卷三  
 九丁裏7行目」・興テ(「ヲキ」テ)「卷三 九丁裏7行目」・肱(「ヒ  
 チ」)「卷三 十丁表5行目」・跪ツカ不(「ヒザマ」ツカズ・右傍、「ヒ  
 ザマツ」カズ・左傍)「卷三 十丁表5行目」・馳セ不(「ハ」セズ)  
 「卷三 十丁表7行目」・里ト(墨書)「サ」ト)「卷三 十丁表7行  
 目」・虚(「キ」)「卷三 十丁裏1行目」・佩リ(「ヲヘリ」)「卷三  
 十丁裏2行目」・微角(「チ」)「卷三 十丁裏3行目」・菜薺(「サイ  
 ジ」)「卷三 十丁裏5行目」・中リ(「アタ」リ)「卷三 十丁裏5行  
 目」・折還(「セツ」)「卷三 十丁裏5行目」・鳴ル(「ナ」ル)「卷三  
 十丁裏6行目」・鸞和(「ランワ」)「卷三 十丁裏7行目」・鳴ス(「ナ  
 ラ」ス)「卷三 十丁裏7行目」・佩ノ玉(「ハイ」)「卷三 十丁裏7  
 行目」・自テ(「ヨ」テ)「卷三 十丁裏8行目」・射イル(「ユミ」イ  
 ル)「卷三 十丁表6行目」・弓矢(「シ」)「卷三 十丁表7行  
 目」・明(「メイ」ス)「卷三 十丁裏4行目」・始加(「シ」)「卷三  
 十丁裏5行目」・祝シテ(「シク」シテ)「卷三 十丁裏5行目」・  
 爾(「ナン」ヂ)「卷三 十丁裏6行目」・福(「サイハイ」)「卷三  
 十丁裏6行目」・祺(「キ」右傍、「キ」左傍)「卷三 十丁裏6  
 行目」・景ナル(「ヲ、イ」ナル)「卷三 十丁裏6行目」・令辰(「シ  
 ン」)「卷三 十丁表2行目」・申ス(「モ」ウス)「卷三 十丁表  
 2行目」・淑ク(「ヨ」ク)「卷三 十丁表2行目」・胡ナル(「ハル  
 カナル」)「卷三 十丁表3行目」・歳(「ト」シ)「卷三 十丁表

5行目・考(「コウ」)「卷三 十二丁表6行目」・彊(「キハマリ」)左傍、「キハマリ」上欄外「卷三 十二丁表7行目」慶ビヲ(「ヨロコビ」)「卷三 十二丁表7行目」・素ヲ純ニモ(「セ」)不(「モトヲシ」)ユセズ・左傍、「モトヲシユセス」・下欄外、「モトヲ」上欄外「卷三 十二丁裏2行目」・采(「オ」)「卷三 十二丁裏3行目」・紺(「スウ」)「卷三 十二丁裏5行目」・褻(「ケ」)「卷三 十二丁裏7行目」・綿(「チケキ」)「卷三 十二丁裏8行目」・表ニシテ(「ウハラソイニシテ」)「卷三 十二丁裏8行目」・珍ハ単之ヲ謂(「珍単」という熟語であることを示すため角筆にて二字を丸く囲む線あり)「卷三 十三丁表1行目」・佩タマフハ(「ラビ」)タマフハ「卷三 十三丁表2行目」・羔裘(「カウ」)「卷三 十三丁表3行目」・弔シタマフハ(「ト」)ブライシタマフハ「卷三 十三丁表4行目」・綱(「カサリ」)「卷三 十三丁表6行目」・議ルニ(「ハカ」)ルニ「卷三 十三丁表8行目」・沢セ不(「タ」)クセス「卷三 十三丁裏3行目」・搏スルコト(「マロ、ホス」)上欄外、「タン」左傍「卷三 十三丁裏5行目」・流(「セツ」)「卷三 十三丁裏5行目」・鬻ムコト(「カ」)ムコト「卷三 十三丁裏5行目」・反スコト母レ(「カヘ」)スコトナカレ「卷三 十三丁裏7行目」・固獲スルコト(「クワク」)「卷三 十三丁裏8行目」・飯セハ(「ハンシ玉(タマハ)」)バ「卷三 十四丁表2行目」・羹ヲ(「スルコト母レ(「アツモノ」)、「アラミ」)右傍、「アラノミ」左傍「卷三 十四丁表3行目」・刺スコト母レ(「サス」)コトナカレ「卷三 十四丁表4行目」・醢ヲ(「スルコト(「ヒシヲ」)右傍、「ヒシヲ」左傍、「ス、ル」)右傍、「ス、ル」左傍「卷三 十四丁表4行目」・客(「ク」)「卷三 十四丁表4行目」・饗シキヲ以(「テ」)ス(「トホシキ」)「卷三 十四丁表5行目」・決チ(「タチ」)「卷三 十四丁表8行目」・乾ノ肉(「カン」)「卷三 十四丁表8行目」・菌ニテ決(「クイツクス」)「卷三 十四丁裏1行目」・炙(「アフリ」)「卷三 十四丁裏1行目」・亟ニセヨ(「スミヤカ」)ニセヨ「卷三 十四丁裏4行目」・数(「シハ」)シハ「卷三 十四丁裏4行目」・精ケタルハ(「アザ

ケテ」)「卷三 十五丁表1行目」・食體シテ(「エイ」)「卷三 十五丁表2行目」・餽シ(「アフ」)右傍、「カツシ」左傍「卷三 十五丁表2行目」・魚飯(「タイ」)「卷三 十五丁表2行目」・沽タル(「カラ」)タル「卷三 十五丁裏3行目」・脯ハ(「ホシシ」)「卷三 十五丁裏3行目」・沽市皆買(「沽市皆買」という熟語であることを示すため角筆にて四字を丸く囲む線あり)「卷三 十五丁裏3行目」・冢(「シ」)「卷三 十五丁裏7行目」・踐サ弗ル(「コロサ」)ザル「卷三 十五丁裏7行目」・禍ト為ニ(「ナ」)スニ「卷三 十六丁表2行目」・獄ノ訟益繁キハ(「ゴク」)、「正」・「マス」マス・右傍、「マス」右傍、「シケ」キハ「卷三 十六丁表2行目」・生スル(「セ」)イスル「卷三 十六丁表2行目」・禍(「クワ」)「卷三 十六丁表5行目」・傳(「ツ」)可シ(「ベ」)シ「卷四 一丁裏1行目」・摠テ(「トイ」)テ「卷四 一丁裏4行目」・興起スル(「カウ」)「卷四 一丁裏5行目」・美(「ミルメ」)「卷四 二丁表5行目」・嬉戲(「ケキ」)「卷四 二丁裏1行目」・踊躍(「ヤウ」)「卷四 二丁裏1行目」・賈術(「カク」)、「コ」「賈」の右傍「卷四 二丁裏3行目」・旁(「カタハラ」)「卷四 二丁裏4行目」・徒シタマフ(「ウツシ」)タマフ「卷四 二丁裏4行目」・揖讓(「イツ」)「卷四 二丁裏4行目」・真ニ(「マ」)コトニ「卷四 二丁裏5行目」・以(「テ」)子ヲ居ク可(「シ」)「ベ」シ、「居」右下に角筆にて返り点「一」あり「卷四 二丁裏5行目」・為(「ル」)「ナ」ル「卷四 二丁裏8行目」・適ニ(「ユク」)右傍、「ユク」「テキ」右欄外「卷四 三丁表1行目」・淡ハ食也(「淡食」という熟語であることを示すため角筆にて二字を丸く囲む線あり)「卷四 三丁表2行目」・克(「ヨク」)「卷四 三丁裏8行目」・諧クルニ(「マクラ」)クルニ「卷四 三丁裏8行目」・対応箇所不明(「泣キウ」)「卷四 四丁表右上欄外」・讓ハ和也(「讓和」という熟語であることを示すため角筆にて二字を丸く囲む線あり)「卷四 四丁表2行目」・格ハ至(「格至」という熟語であることを示すため角筆にて二字を丸く囲む線あり)「卷四 四丁表3行目」・旻天(「ヒン」)「卷四 四丁表4行目」・為ソ

〔ナンズレン〕「卷四 四丁表5行目上欄外」・怨慕シタマフ（「エ  
ン」）「卷四 四丁表5行目」・熱（ク）ス（「アツ」）クス「卷四 五  
丁表8行目」・愛ム（「ヲシ」）ム「卷四 五丁裏6行目」・内豎（「ジ  
ユ」）「卷四 六丁表1行目」・安（音読符）否（音読符）（「ヒ」）「卷  
四 六丁表2行目」・文王（「ユ」）「卷四 六丁表5行目」・履（「ミ」）  
タマフコト（「フ」）ミタマフコト「卷四 六丁表6行目」・復リタマ  
フ（カヘリタマ「ヘ」）「卷四 六丁表6行目」・在（「サイ」）「卷四  
六丁表6行目」・視シタマヒ（「シ」）シタマヒ「卷四 六丁表7行  
目」・寒煖（「カントタン」）「卷四 六丁表7行目」・原タヒスルコト  
（「フタ、ヒ」）スルコト「卷四 六丁表8行目」・善（ク）（「ヨ」）ク  
「卷四 六丁裏6行目」・孝之至也（「イタ」リ）「卷四 七丁表3行  
目」・淮南子（「エ」）「卷四 七丁表5行目」・行（ク）（「イ」）ク「卷  
四 七丁表5行目」・勝（ヘ）タマハルカ若ク（「タ」）ヘタマハザル  
「卷四 七丁表6行目」・口ニ（ク）チ「ヨリ」「卷四 七丁表6行目」・  
奉（「ホウ」）「卷四 七丁表7行目」・恐（レ）タマフカ如シ（「ヲソ  
レ」）タマフ「卷四 七丁表8行目」・能（ク）シタマフト（「ヨク」）  
シタマフ「卷四 七丁表8行目」・請ハ不（コ）ハ「ズ」「卷四 七  
丁裏4行目」・蹇（「ケン」）「卷四 八丁表3行目」・跌ツキ（「ツマ  
ツキ」）「卷四 八丁表8行目」・間（ト）「イ」「卷四 八丁裏6行目」・  
筈ウツ（「ムチ」）ウツ「卷四 九丁裏3行目」・泣（ク）（「ナ」）ク」  
「卷四 九丁裏5行目」・作シ（「ヲコシ」）「卷四 十丁表1行目」・安  
ンソ（「イ」）ヅ「ク」ンゾ「卷四 十丁表4行目」・反（「ハン」）「卷  
四 十一丁表6行目」・仰テ思フ（「ウマス」）「卷四 十一丁表6行  
目」・息ト者侍也（「イコウ」）「卷四 十一丁表7行目」・珍怪（「チ  
ン」）「卷四 十二丁裏8行目」・淫泆（「インイツ」）「卷四 十二丁表  
2行目」・彰シテ（「アラハス」）「卷四 十二丁表4行目」・何ニカ華  
セラント（「ツミアリ」）「卷四 十二丁裏2行目」・三諫（「カン」）「卷  
四 十二丁裏7行目」・遂ニ行レリ（「サ」）レリ「卷四 十二丁裏8  
行目」・闕ニ至テ（「ケツ」）「卷四 十三丁裏2行目」・聞（キ）「ク」

「卷四 十三丁裏4行目」・信へ（「ノ」）へ「卷四 十三丁裏6行目」・  
此人（コ）「ノ」「卷四 十四丁表8行目」・質ヲ委ネ（「ユタネ」）「卷  
四 十四丁裏7行目」・糲キリ（「クサキリ」）「卷四 十五丁裏7行  
目」・聚（「アツメ」）「卷四 十五丁裏8行目」・四キシフ（墨書）テ  
（「ヒライ」）テ「卷四 十六丁表7行目」・蚤ク（「ハヤク」）「卷四  
十六丁裏4行目」・誓フ（「チカ」）フ・右傍、「チコフ」左傍「卷四  
十六丁裏5行目」・蔡人（サ「イ」）「卷四 十六丁裏7行目」・遺ラ不  
（「ラク」）ラズ「卷四 十七丁表2行目」・怒（「イカリ」）「卷四 十  
七丁表7行目」・怨（「ウラミ」）「卷四 十七丁表7行目」・肯（ウベ  
ナ「イ」）「卷四 十七丁裏5行目」・虞凶（「セイ」）「卷四 十七丁裏  
7行目」・質サ不（「タ」）サズ「卷四 十七丁裏8行目」・畔（「クロ」）  
「卷四 十八丁表1行目」・啓蟄（「チツ」）「卷四 十九丁表7行目」・  
衛轍（「テツ」）「卷四 十九丁表8行目」・寶ヨリセ不（「アナ」）ヨリ  
セズ「卷四 十九丁裏2行目」・績メリ（「ヲ」）ウメリ・右傍、「ヲ  
ウメリ」上欄外「卷四 二十丁裏5行目」・力之家（「ヲコラ」）「卷  
四 二十丁裏5行目」・統（「チン」）「卷四 二十丁表5行目」・賦  
シ（「ナガ」）シ「卷四 二十丁表8行目」・效（「タタク」）「卷四  
二十丁表8行目」・衍チハ（「アヤマチハ」）「卷四 二十丁裏1行  
目」・嗣（「ツキ」）「卷四 二十二丁裏8行目」・珍スル者ハ（「チン」）  
「卷四 二十三丁表3行目」・義（「ナライ」）「卷四 二十三丁裏1行  
目」・攸（「ユウ」）右傍、「トコロフ」左傍「卷四 二十五丁裏8行  
目」・威儀（「イ」）「卷四 二十六丁表5行目」・驕情ニシテ（「キ」）  
ヤウ「卷五 二丁表5行目」・歌舞（「カフ」）「卷五 四丁裏2行  
目」・為ナル可（シ）（「イナルベ」）シ「卷五 五丁裏1行目」・学  
（「ブ」）可（シ）（「マナブベ」）シ「卷五 五丁裏2行目」・畢ク（「コ  
ト」）ク「卷五 七丁裏2行目」・佞（「ヘツラウ」）「卷五 九丁  
表6行目」・戲談（「キ」）「卷五 九丁表7行目」・崇ヒ（「タトヒ」）  
「卷五 九丁裏3行目」・憂畏（「イ」）「卷五 十三丁表1行目」・替  
（「タイ」）「卷五 十三丁表8行目」・蜻蛉（「トホノコト」）「卷五 十

- 四丁表上欄外・明道（ミヤ「ウ」）〔卷五 十五丁裏5行目〕・期（キ  
 「二」）〔卷五 十六丁表6行目〕・為ス可（シ）〔卷五 十六丁表6行  
 目〕・墮コト無ク（ソコナフ）コト）〔卷五 十六丁裏7行目〕・戴  
 （タイ）〔卷五 十七丁表1行目〕・柔カニシ（ヤワヤ）カニシ）〔卷  
 五 十七丁裏6行目〕・愛悪（アイヲ）〔卷五 十八丁表4行目〕・  
 横渠先生（テシ）左傍、「テウシトモ人名」左傍）〔卷五 十九丁裏  
 1行目〕・寇者（コウ「ハ」）〔卷五 二十丁裏2行目〕・誕（タン）  
 〔卷五 二十二丁表8行目〕・四裔（エイ）〔卷五 二十二丁裏3行  
 目〕・齋イ（墨書）肉〔卷五 二十二丁裏8行目〕・厨帳（チウ）〔卷  
 五 二十二丁裏8行目〕・此設（セツ）〔卷五 二十三丁表1行  
 目〕・異ト為（イト）ス）〔卷五 二十三丁表2行目〕・望（ム）ラ  
 クハ（ノ）ゾムラクハ）〔卷五 二十三丁表2行目〕・随（スイ）  
 〔卷五 二十三丁表6行目〕・場（ヤウ）〔卷五 二十三丁表6行  
 目〕・怪（アヤシ）〔卷五 二十四丁表1行目〕・可（カラ）不（ベ  
 カ「ラス」）〔卷五 二十四丁裏5行目〕・衰麻（スイマ）〔卷五  
 二十四丁裏6行目〕・扶養スル（フ）〔卷五 二十四丁裏7行目〕・  
 撲陋（ホクロウ）〔卷五 二十五丁表3行目〕・斬衰（サンサイ）  
 〔卷五 二十五丁表3行目〕・貶議（ヘン）〔卷五 二十五丁裏2行  
 目〕・巫覡（ゲキ）〔卷五 二十六丁裏3行目〕・邦（クニ）〔卷  
 五 二十八丁表2行目〕・持ツ（タモツ）〔卷五 二十八丁表5行  
 目〕・配ス（ハイ）ス・右傍、「アラハ」ス・左傍）〔卷五 三十一  
 丁表3行目〕・恒（コウ）〔卷五 三十二丁表2行目〕・此（コ「ノ」）  
 〔卷五 三十二丁表6行目〕・漸漬（ゼンシ）〔卷五 三十三丁裏1  
 行目〕・是耶トノタマヘリ（ヤカ）〔卷五 三十三丁裏4行目〕・退  
 テハ（イツテ）ハ）〔卷五 三十三丁裏4行目〕・仇敵（テキ）〔卷  
 五 三十四丁表7行目〕・席テ（ヨツテ）〔卷五 四十二丁裏8行  
 目〕・警（ケイ）右傍、「ケイ」左傍）〔卷五 四十五丁表4行目〕・  
 遂ケ不ント（ト「ケザラン」ト）〔卷五 四十五丁裏6行目〕・余饒  
 （ゼウ）〔卷五 四十五丁裏8行目〕・警ム（イマシム）〔卷五 四  
 十七丁表8行目〕・暴悍ナル（ホウ）〔卷五 四十九丁表4行目〕・差  
 （ハ）不ル（矣）（タガハラ）ザル）〔卷五 五十丁裏2行目〕・五二  
 （タカイ）〔卷五 五十二丁表6行目〕・渙然トシテ（クワン）〔卷  
 五 五十三丁表4行目〕・怕ル（コウ）ル）〔卷五 五十三丁表8行  
 目〕・厭煩（エン）〔卷五 五十三丁裏1行目〕・竟ラ未レハ（ラ  
 ハラ）ザレハ）〔卷五 五十三丁裏5行目〕・祁寒（キ）〔卷六 一  
 丁裏2行目〕・里巷（コウ）〔卷六 一丁裏8行目〕・潁州（エイ）  
 〔卷六 二丁表2行目〕・巖穀（キ）〔卷六 二丁表4行目〕・延テ  
 （ヒイ）テ）〔卷六 二丁表4行目〕・鍋釜（フ）〔卷六 三丁表5  
 行目〕・耶（ヤ）〔卷六 三丁表6行目〕・斥ク（ヨ）ク）〔卷六  
 三丁裏2行目〕・翼（ヨク）〔卷六 三丁裏4行目〕・言談（タン）  
 〔卷六 四丁表4行目〕・改テ（イマシメ）テ）〔卷六 六丁裏3行  
 目〕・課（クハ）〔卷六 六丁裏3行目〕・高ヲ四（ウカ、ウ）〔卷  
 六 八丁裏2行目〕・継母（ケイ）〔卷六 十丁表7行目〕・丹  
 （ナイ）〔卷六 十丁裏5行目〕・三徴七辟（チウ）〔卷六 十一丁  
 表7行目〕・樹ニ著テ（チヨシ）「樹」右傍）〔卷六 十一丁裏1行  
 目〕・魏ヲ纂ニ及テ（ウボウ）ニ）〔卷六 十一丁裏7行目〕・人王  
 延（エン）〔卷六 十二丁表2行目〕・空ナリ（マレナリ）〔卷六  
 十二丁表6行目〕・康寧ナリ（ネイ）〔卷六 十二丁裏1行目〕・庚  
 黔（コン）〔卷六 十二丁裏6行目〕・差劇（ゲキ）〔卷六 十三  
 丁表3行目〕・転（ウタ、）〔卷六 十三丁表4行目〕・甜滑ナリ  
 （テングワツ）〔卷六 十三丁表4行目〕・哭踊スル（コクユ）〔卷  
 六 十三丁表8行目〕・祖括（クワツ）〔卷六 十三丁裏2行目〕・  
 肯（ゼズ）不シテ（カヘンセ）ズシテ）〔卷六 十三丁裏4行目〕・  
 塚壙（チヨ）〔卷六 十四丁表2行目〕・御ルコト（ス、ム）ルコ  
 ト）〔卷六 十四丁表5行目〕・幾ント（ホトント）〔卷六 十四丁  
 裏5行目〕・數タビ（アマタタビ）〔卷六 十六丁裏4行目〕・踞テ  
 （ウツクマル）〔卷六 十七丁表4行目〕・帷幄（イアク）〔卷六  
 十七丁裏4行目〕・姑ク（シバラ）ク）〔卷六 十七丁裏6行目〕・懼

テ〔ヲソレ〕テ〕〔卷六 十八丁裏4行目〕・哀ミタマヒテ〔アハレミタマヒテ〕〔卷六 十八丁裏7行目〕・巧シコトヲ欲シタマフ〔カヘン〕コトヲ〕〔卷六 十八丁裏7行目〕・旌ス〔セイ〕ス、アラハス〕〔卷六 十九丁表5行目〕・赦ヌ〔シヤ〕ス・右傍、〔ユルス〕下欄外〕〔卷六 十九丁表5行目〕・遅緩〔クワンシ〕〔卷六 二十丁表4行目〕・馭〔キヨ〕〕〔卷六 二十丁表6行目〕・道へ〔イ〕へ〕〔卷六 二十一丁表5行目〕・錯ララ不ル〔アヤマツ〕〕〔卷六 二十一丁表6行目〕・官守〔シユ〕〕〔卷六 二十一丁裏3行目〕・干メ〔モト〕メ〕〔卷六 二十二丁裏3行目〕・還〔ゼ〕不〔ラ〕ンハ〔カ〕ンゼザランハ〕〔卷六 二十二丁表1行目〕・惟フ〔ヲ〕モフ〕〔卷六 二十二丁表4行目〕・卒ルコト〔ヲハ〕ルコト〕〔卷六 二十二丁表8行目〕・祭祀〔ヒ〕〕〔卷六 二十二丁裏4行目〕・更テ〔アラタメ〕テ〕〔卷六 二十三丁表7行目〕・文叔〔シユク〕〕〔卷六 二十三丁裏3行目〕・女〔ムスメ〕〕〔卷六 二十三丁裏4行目〕・門テ〔ヲハツ〕テ〕〔卷六 二十三丁裏4行目〕・憐テ〔アハレミ〕テ〕〔卷六 二十四丁表2行目〕・棲カ〔スミ〕カ〕〔卷六 二十四丁裏2行目〕・論シテ〔サト〕シテ〕〔卷六 二十四丁裏5行目〕・鄭義〔テイ〕〕〔卷六 二十四丁裏8行目〕・貞烈〔レツ〕〕〔卷六 二十六丁表2行目〕・詔シテ〔ミコトノリ〕〕〔卷六 二十六丁表2行目〕・〔ソク〕〕〔卷六 二十六丁表3行目〕・繆形〔ホクヨフ〕〕〔卷六 二十六丁表4行目〕・住ム〔ス〕ム〕〔卷六 二十六丁裏8行目〕・覽興詳〔ト〕〕〔卷六 二十七丁表6行目〕・晋〔シン〕〕〔卷六 二十七丁表8行目〕・担フ〔ニナ〕フ〕〔卷六 二十七丁裏8行目〕・差コトヲ〔イユル〕コトヲ〕〔卷六 二十八丁表7行目〕・知シ〔シ〕リ〕〔卷六 二十八丁裏3行目〕・楊幡〔ハ〕〕〔卷六 二十八丁裏5行目〕・曲〔ク〕ス〕〔卷六 二十九丁裏7行目〕・怪ミ問フ〔アヤシム〕〕〔卷六 二十九丁裏8行目〕・若ヒシテ〔ナンシ〕〕〔卷六 三十丁表2行目〕・然テ〔モヤ〕シテ〕〔卷六 三十丁表5行目〕・申ルニ〔カサヌル〕〕〔卷六 三十丁裏6行目〕・予〔ヘ〕タマへ〔アタへ〕

タマへ〕〔卷六 三十一丁表8行目〕・其ノ子召ス〔子〕の左下に角筆にて「一」の返点、「召」の左下に角筆にて「二」の返点〕〔卷六 三十一丁表8行目〕・〔シ〕〔シヤシ〕〕〔卷六 三十二丁表2行目〕・浣滌〔デキ〕〕〔卷六 三十二丁裏8行目〕・趣シ〔ウナガシ〕〕〔卷六 三十三丁裏5行目〕・頗〔スコ〕ムル〕〔卷六 三十四丁表1行目〕・宜〔ヨロシ〕ク〕〔卷六 三十四丁表2行目〕・富者〔フ〕ハ〕〔卷六 三十四丁裏2行目〕・金者〔キン〕ハ〕〔卷六 三十四丁裏3行目〕・肯〔ゼ〕不〔カヘンセ〕ズ〕〔卷六 三十四丁裏8行目〕・須ルコト有レハ〔モト〕ムルコト〕〔卷六 三十五丁裏4行目〕・啓觀〔キン〕〕〔卷六 三十五丁裏7行目〕・分子賣ルコト〔アトフ〕ルコト〕〔卷六 三十六丁表1行目〕・家ヲ御ムルニ〔ヲサ〕ムルニ〕〔卷六 三十六丁表5行目〕・堅朴ニシテ〔バク〕〕〔卷六 三十六丁表8行目〕・隨唐〔ズイ〕〕〔卷六 三十六丁裏4行目〕・幸シ〔ミユキシ〕〕〔卷六 三十六丁裏5行目〕・睦スル所〔シタシクス〕ルトコロ〕〔卷六 三十六丁裏5行目〕・協〔ガ〕不ル〔ヤハラ〕ガザル〕〔卷六 三十六丁裏7行目〕・租〔ソ〕〕〔卷六 三十七丁裏2行目〕・微シ〔メ〕シ〕〔卷六 三十七丁裏2行目〕・感感タラ不〔セキ〕〕〔卷六 三十七丁裏8行目〕・瑞〔ズイ〕〕〔卷六 三十八丁表1行目〕・食シテ〔シ〕シテ〕〔卷六 三十八丁表7行目〕・刻木〔コク〕〕〔卷六 三十九丁表8行目〕・纈文〔ケツ〕〕〔卷六 三十九丁表8行目〕・祇〔タ、〕〕〔卷六 四十丁表4行目〕・畜犬〔チツ〕〕〔卷六 四十丁裏3行目〕・給餉〔シヤウ〕〕〔卷六 四十一丁表1行目〕・掌シム〔ツカサトラ〕シム〕〔卷六 四十一丁表2行目〕・悲ラ令メント〔イカラ〕シメント〕〔卷六 四十一丁表2行目〕・運ブ〔ハコブ〕右傍、〔ハコ〕ブ・上欄外、〔ハコ〕ブ・上欄外〕〔四十三丁裏3行目〕・引接シテ〔イン〕〕〔卷六 四十四丁表3行目〕・自棄〔ジキ〕〕〔卷六 四十四丁表7行目〕・楊嬭〔ケイ〕〕〔卷六 四十四丁裏7行目〕・四傑〔ケツ〕〕〔卷六 四十四丁裏8行目〕・顯水〔エイ〕〕〔卷六 四十五丁表3行目〕・盈川〔エイ〕〕〔卷六 四十五丁表4行



- 目・孔戡(カン)「卷六 四十五丁表4行目」・樞夫(タ)「卷六 四十五丁表8行目」・端坐シテ(タン)「卷六 四十五丁裏5行目」・薰七不(クン)「卷六 四十五丁裏7行目」・釈(セ)不(シヤクセ)ズ「卷六 四十五丁裏7行目」・貸七不(ユル)サズ「卷六 四十六丁表2行目」・通ケバ(ノ)ケバ「卷六 四十六丁表4行目」・門人為(モンジン)「タリ」「卷六 四十七丁表6行目」・助ム(ツト)ム「卷六 四十七丁表7行目」・韓氏(カン)「卷六 四十八丁表1行目」・廷試(シ)「卷六 四十八丁表8行目」・趨捨(スイシャ)「卷六 四十九丁表2行目」・隠枯(イン)「卷六 五十丁表8行目」・諡ス(ヲクリナス)「卷六 五十一丁表5行目」・潔シ(イサギヨシ)「卷六 五十一丁表7行目」・速クニ非レハ(マネク)ニアラザレバ「卷六 五十一丁裏3行目」・封丘門(トウ)「卷六 五十二丁裏6行目」・若シ(シカ)ン「卷六 五十二丁裏2行目」・脯醢菜羹(ホカイサイカウ)「卷六 五十二丁裏8行目」・物(モノ)「卷六 五十三丁表2行目」・珍異(チン)イ「卷六 五十三丁表4行目」・違(フ)可(カラ)不ル也ト(タガ)フベカラザルナリト「卷六五十三丁裏5行目」・咬(ミ)得ハ(カミヘハ)「卷六 五十三丁裏8行目」
- (八) 諸家集註唐詩(三休詩) 二冊
- 〔第一冊目〕
- ・飛(ヒ)来ン(トヒ)キタラン「卷一 三丁裏7行目」・吹ク(フ)ク「卷一 七丁裏4行目」・訪ラフ(トム)ラフ「卷一 八丁表5行目」・雍陶(ヨウトウ)「卷一 八丁表5行目」・鼎(ケ)「卷一 八丁表9行目」・台(ウテナ)「卷一 八丁表10行目」・遠帆ハシ(墨書)(エハ)「卷一 八丁表10行目」・髪(ハツ)「卷一 八丁裏4行目」・遠客(トヲ)「卷一 九丁表6行目」・小扇(セシ)「卷一 九丁裏10行目」・窮郊(久カラ)「卷一 十丁表4行目」・多情(情)の右上に角筆にて濁点あり「卷一 十丁表4行目」
- 目・練漣シテ(レンロ)「卷一 十丁表4行目」・愧ツ(ハ)ツ「卷一 十丁表4行目」・陸龜蒙(モウ)「卷一 十丁裏4行目」・(キヤウ)「卷一 十丁裏4行目」・蝶(長)「卷一 十丁裏5行目」・縑巾(キン)「卷一 十丁裏6行目」・潺湲(カン)「卷一 十二丁表7行目」・掖キ(墨書)(エ)キ「卷一 十二丁表5行目」・鄭谷(テイ)「卷一 十三丁表6行目」・寂寥(セキ)「卷一 十三丁表6行目」・来(レバ)「キタ(レバ)」「卷一 十三丁裏2行目」・獄ク(墨書)(ガ)ク「卷一 十三丁裏2行目」・蘋香(ヒン)「卷一 十四丁表9行目」・短ク(ミチカ)ク「卷一 十四丁裏2行目」・江隄(テイ)「墨書)(テイ)」「卷一 十六丁表9行目」・軽ルク(カ)ルク「卷一 十六丁裏3行目」・拆テ(ヒライ)テ「卷一 十六丁裏3行目」・遣ル(ヤ)ル「卷一 十七丁表6行目」・司空曙(シヨ)「卷一 十七丁表6行目」・心期(キ)「卷一 十八丁表11行目」・怪(キ)コト(アヤシ)キコト「卷一 十八丁裏8行目」・考夕(コウセキ)「卷一 十九丁表5行目」・寄(ス)(ヨ)ス「卷一 十九丁表6行目」・維ス(墨書)楊(ヨ)「卷一 十九丁表6行目」・斜明虚(キヨ)「卷一 二十丁裏4行目」・稲梁肥タリ(トウ)「コエ)タリ」「卷一 二十丁裏15行目」・風驚(驚)の右上に角筆にて濁点あり「卷一 二十丁表5行目」・隔ルコトヲ(ヘタツ)ルコトヲ「卷一 二十三丁表2行目」・軽ス(カロン)ス「卷一 二十四丁表4行目」・逐ヒ(ヲ)ヒ「卷一 二十四丁裏14行目」・避(サク)「卷一 二十四丁裏14行目」・羸チ(墨書)得タリ(カ)チエタリ「卷一 二十四丁裏15行目」・陽関(ヨ)「卷一 二十五丁裏2行目」・貪リ(ムサホ)リ「卷一 二十六丁表5行目」・己亥歳(キカイ)「卷一 二十六丁表6行目」・戦凶(千ト)「卷一 二十六丁裏3行目」・飯ス(ハン)ス「卷一 二十七丁表5行目」・明慧上人(ケイ)「卷一 二十七丁表6行目」・巢燕(ソウエン)「卷一 二十七丁表6行目」・憑秀(ヒヤウシウ)「卷一 二十七丁裏4行目」・李白(リ)「卷一 二十七丁

裏14行目・此身(ヒジン)〔卷一 二十八丁裏1行目〕客ル(イ)ル〔卷一 二十八丁裏7行目〕・赤欄(シヤク)〔卷一 二十九丁裏9行目〕・麻マ(墨書)姑カ(墨書)〔卷一 二十九丁裏9行目〕・蘆(ロ)〔卷一 三十丁表4行目〕・春秋峽(キヤウ)〔卷一 三十丁表14行目〕・勝レリ(マサ)レリ〔卷一 三十丁表15行目〕・覺ム(モト)ム〔卷一 三十一丁裏7行目〕・絲囊(ナウ)〔卷一 三十二丁表7行目〕・遺ヤル(墨書)〔卷一 三十三丁表5行目〕・翁(ヲウ)〔卷一 三十三丁表13行目〕・香埴(キ)〔卷一 三十三丁裏2行目〕・迢迢(上)「テウ)〔卷一 三十三丁裏4行目〕・葉城辺(ヨウ)〔卷一 三十三丁裏4行目〕・除ナリ(ハルカ)ナリ〔卷一 三十三丁裏7行目〕・天涯ヨリ(ガ)〔卷一 三十三丁裏7行目〕・籬(リ)〔卷一 三十五丁表13行目〕・笛裏ノ人(テキ)〔卷一 三十八丁表15行目〕・吟シ断フ(タウ)〔卷一 三十八丁裏14行目〕・國(クハコク)〔卷一 四十丁裏15行目〕・山屐ケキ(ゲキ)〔卷一 四十二丁表5行目〕・滴シタツ(シタ)ツ〔卷一 四十二丁裏15行目〕・葉ノ戦ク(ソヨ)ク〔卷一 四十二丁表3行目〕・闕ケツ下(ケツ)〔卷一 四十三丁裏4行目〕・痕コン(墨書)〔コン)〔卷一 四十四丁裏14行目〕・激トシテ(エン)〔卷一 四十五丁裏3行目〕

〔第二冊目〕角筆の書き入れ、認められず

〔九〕 教行信証 二冊  
 ・敢テ(アヘテ)〔第一冊 卷二 三十二丁裏4行目〕

〔十〕 佛説觀無量壽經 一冊

・香闍崛山(キシヤク)サン)〔二丁表3行目〕・悪友(アク)〔二丁裏3行目〕・収執(シツ)〔二丁裏3行目〕・恭敬(ク)〔二丁表1行目〕・瓔珞(ヨラク)〔二丁表2行目〕・時目連(シモクケ

ンレン)〔二丁裏1行目〕・授王八戒(十)〔二丁裏3行目〕・沙門目連(モ)〔三丁表3行目〕・世尊亦遣(イ)〔三丁表3行目〕・怒其母日(モ)〔三丁裏1行目〕・沙門(シヤ)〔三丁裏1行目〕・幻惑(ケン)〔三丁裏1行目〕・惡王(アク)〔三丁裏1行目〕・欲害(ヨクカイ)〔三丁裏2行目〕・聰明(ソウ)〔三丁裏3行目〕・貪国位故(ゴ)〔四丁表1行目〕・殺害(セツ)〔四丁表1行目〕・未曾聞有(ミド)〔四丁表2行目〕・臣不忍聞(ニ)〔四丁表3行目〕・不宜住此(ギ)右傍、「ギ」左傍、「チウ)〔四丁表3行目〕・慎莫害母(マク)〔四丁裏2行目〕・懺悔(サケ)〔四丁裏2行目〕・勅語(チヨク)〔四丁裏3行目〕・閑置(ヘイ)〔四丁裏3行目〕・來慰(ライイ)〔五丁表3行目〕・無由(ユ)〔五丁表3行目〕・願遣(ケン)〔五丁表3行目〕・香闍崛山(キシヤク)サン)〔五丁裏2行目〕・憂惱(ウ)〔六丁裏3行目〕・閻浮提(エン)〔六丁裏4行目〕・濁惡世(アク)〔六丁裏4行目〕・濁惡世也(ヤ)〔六丁裏4行目〕・五体投地(ゴ)「タイトチ)〔七丁表2行目〕・我觀(カン)〔七丁表3行目〕・清淨業处(キヨウ)〔七丁表3行目〕・還住佛頂(ケン)〔七丁表4行目〕・嚴頭可觀(ケンケンカガン)〔八丁表1行目〕・雖復清淨(ス)イ)〔八丁表2行目〕・思惟(シユイ)〔八丁表4行目〕・障(サウ)〔八丁裏3行目〕・西方(サイ)〔九丁裏3行目〕・羸劣(ル)〔十丁表3行目〕・宝珠(チュ)〔十二丁表2行目〕・錯サク(朱書)〔シヤク)〔十二丁表4行目〕・於台(オタイ)〔十二丁裏3行目〕・樂器(カキ)〔十二丁裏3行目〕・演說(エン)〔十二丁裏4行目〕・罪(サイ)〔十三丁裏4行目〕・葉(ヨ)〔十四丁裏1行目〕・體色(シヤコ)〔十四丁裏2行目〕・紅(エ)〔十四丁裏2行目〕・枝葉(シ)〔十六丁表4行目〕・流注(ルチ)〔十七丁表3行目〕・立(リツ)〔十九丁表2行目〕・起(キ)〔十九丁裏4行目〕・微妙(ミ)〔二十丁表3行目〕・雜ツ(朱書)〔サツ)〔二十二丁表2行目〕・鏡中(キヨ)〔二十二丁表3行目〕・心限(ケン)〔二十三丁裏2行目〕・

左辺〔サ〕「二十四丁表2行目」・左坐〔サ〕「二十四丁表4行目」・修〔シユ〕「二十五丁表2行目」・頂上毘楞伽〔ヒリ〕「二十九丁裏1行目」・一切〔サイ〕「三十丁裏3行目」・接引〔セツイン〕「三十丁裏3行目」・衆好〔シユ〕「三十二丁表2行目」・餘〔ヨ〕「三十二丁表1行目」・皆悉〔シツ〕「三十二丁裏2行目」・真実〔ジ〕「三十六丁表4行目」・得須陀羅〔シユ〕「四十六丁表2行目」

(十一) 佛説無量寿経 上

・皆〔カイ〕「卷一 二丁裏1行目」・善思議〔センシキ〕「卷一 三丁表1行目」・制行菩薩〔セイ〕「卷一 三丁表4行目」・文芸〔ゲ〕「卷一 四丁表3行目」・講コ〔墨書〕 武ブ〔墨書〕〔コブ〕「卷一 四丁表4行目」・伎楽〔キ〕「卷一 四丁裏1行目」・何者〔ナ〕「ント」ナレバ「卷二 一丁表4行目」・有用成事義〔十九因果〕「卷二 一丁表5行目」・自順〔シユン〕「卷二 一丁表7行目」・爾自莊嚴〔ニ〕「卷三 四丁裏2行目」・大慈悲〔ジ〕「卷三 四丁裏4行目」・安慰〔キ〕「卷三 五丁裏2行目」

(十二) 大乘起信論注疏 四冊

・大乘起信論疏 夫真心記云真心二字正指法体十大法体也〔キコヘナリ〕「イハシ」「ナク」「ヒラク」「ラウアリ」「ホツ」上欄外、「クウユウ」〔大乘起信論疏〕右傍、「法タイ」〔卷一 序一丁表〕・希夷〔キイ〕「卷一 一丁表3行目」・致一〔チ〕「卷一 一丁裏1行目」・夷斉〔イセイ〕「卷一 一丁裏7行目」・小径乘書〔ニ乗〕「卷一 二丁表3行目」・四信〔心三ホウ〕「卷一 三丁表2行目」・五行乘書〔天方〕「卷一 三丁表2行目」・正道〔ヒリヨ〕「卷一 三丁裏4行目」・衆生〔シ上下〕「卷一 四丁表1行目」・一切ノ苦〔シハ〕「二切」右傍「卷一 四丁表1行目」・教ノ法ヲ詮スル〔能〕「卷一 四丁表6行目」・終教〔教〕の右上に角筆による濁

点〔卷一 四丁裏7行目〕・定性〔定〕〔性〕の右上に角筆による濁点〔卷一 五丁表1行目〕・縁起〔信化〕〔卷一 五丁表1行目〕・惣シテ〔尺〕〔卷一 五丁表4行目〕・真性〔フクウ〕右傍、「エ上」左傍〔卷一 五丁表5行目〕・亦〔尺〕〔卷一 五丁表5行目〕・網〔タトヘ〕〔卷一 五丁裏2行目〕・終教〔教〕の右上に角筆による濁点〔卷一 五丁裏4行目〕・撰ス〔セツ〕〔卷一 五丁裏5行目〕・五〔コ〕〔卷一 五丁裏5行目〕・包伝〔伝〕の右上に角筆による濁点〔卷一 六丁表5行目〕・亦是密ニ此ノ門ヲ説ク〔ミツ〕・右傍、「相トク」左傍〔卷一 六丁裏4行目〕・三ニ著苦楽〔著〕の左上に角筆による濁点、「シツシユツ」右傍〔卷一 六丁裏4行目〕・彼〔カレ〕〔卷一 七丁表2行目〕・前〔サ〕〔キ〕〔卷一 八丁表3行目〕・統取ス〔トウ〕〔卷一 八丁表3行目〕・相門〔六〕〔卷一 九丁表3行目〕・略シテ〔コウスハン〕右傍、「十文」左傍〔卷一 九丁表3行目〕・偏シテ〔ヘン〕〔卷一 九丁表7行目〕・自ノ心妄相〔モウ〕〔卷一 九丁裏4行目〕・相撰スルニ〔ア〕イセツ〕スルニ〔卷一 十丁表4行目〕・唯識等論〔十一〕〔六十一〕〔卷一 十丁裏7行目〕・中観等ノ論〔十二〕〔卷一 十丁裏5行目〕・當ル〔ア〕タル〔卷一 十一丁表4行目〕・何ノ経〔イツレ〕〔卷一 十二丁表6行目〕・今捨言〔コン〕〔卷一 十二丁裏3行目〕・意〔ヲ〕取〔ヲ〕シム〔墨書〕等ノ〔トラス〕〔ムル〕〔卷一 十二丁裏4行目〕・趣ト為〔フカイ〕〔卷一 十二丁裏5行目〕・入乘書証〔ニツ〕〔卷一 十二丁表1行目〕・果ニ乘書クルヲ〔果〕ヲ〔卷一 十二丁表1行目〕・乗者〔ハラコツ尺〕〔卷上 一丁表1行目〕・能求〔う上〕〔卷上 二丁表1行目〕・派羅末陀〔陀〕の右上に角筆による濁点〔卷上 二丁表4行目〕・智乘書〔智〕の右上に角筆による濁点〔卷上 二丁表5行目〕・博解神異ナリ〔神〕の右上に角筆による濁点〔卷上 二丁表7行目〕・復礼綴又弘〔ヌカツクニ〕〔卷上 二丁裏2行目〕・諸根〔六コン〕〔卷上 二丁裏5行目〕・三業〔ヒラク〕〔卷上 二丁裏7行

目」・又三業ノ善ヲ圓滿シテ(二)又』の右傍、三「三」の右傍「卷上 三丁表1行目」・今婦命ト云ハ(チツシ)「卷上 三丁表2行目」・壞(セ)不(ケ)「セ」ズ「卷上 三丁裏2行目」・現色(ジ)『色』左傍「卷上 三丁裏3行目」・諸根ノ『之』性(ケン)『性』左傍「卷上 三丁裏3行目」・礙(ゲ)不(ムケ)「卷上 三丁裏4行目」・法性(ホ「ツ」)「卷上 四丁表1行目」・教(ノリ)「卷上 四丁表2行目」・理(コトハリ)「卷上 四丁表2行目」・深圓(エン)「卷上 四丁表2行目」・時(時)の左上に角筆による濁点「卷上 四丁裏2行目」・撰ス(セ「ツ」)ス「卷上 四丁裏7行目」・準思(ジ)『準』右傍「卷上 四丁裏5行目」・百非(ホツシノシ)右傍、「ホツ」左傍「卷上 五丁表1行目」・五体(体)の右上に角筆による濁点「卷上 五丁表6行目」・衆生(シ)『衆』の右上に角筆による濁点「卷上 五丁裏4行目」・失テ(シ「ツ」)シテカあるいはウシナ(ツ)テ「卷上 六丁表2行目」・何ノ行(イヅ「レ」)「卷上 六丁表6行目」・摩訶衍(エン)「卷上 六丁裏4行目」・製(セ「イ」)「卷上 七丁表2行目」・解釈分(ケシヤクフン)「卷上 八丁表2行目」・撰ス(セ「ツ」)ス「卷上 八丁表3行目」・當(アタル)「卷上 八丁裏3行目」・惡業障(ア「ツ」)「卷上 九丁表1行目」・三ノ根(ミ「ツ」)「卷上 九丁表2行目」・業(ゴ「ウ」)「卷上 九丁表4行目」・重(オモ「キ」)「卷上 九丁表4行目」・煩(ハ「ン」)「卷上 十二丁表6行目」・為シテ(ナ「シテ」)「卷上 十二丁表6行目」・説(ト「イ」)テ「卷上 十一丁裏5行目」・別ヲ開ス(ヒライ)テ「卷上 十一丁裏6行目」・二ト為ル(ナ「ル」)「卷上 十一丁裏7行目」・相ハ体相(タイ)「卷上 十三丁表4行目」・因縁(ハジ)「卷上 十三丁表6行目」・眞如平等ニシテ(タイ)『眞如』右傍、「大」『平等』右傍「卷上 十四丁表5行目」・具足スルカ(相)「卷上 十四丁裏1行目」・報化(クハセン)「ケシン」「卷上 十四丁裏1行目」・細(ケン)『』右傍、「ホシン」『細』右傍「卷上 十四丁裏1行目」・一切四重書

菩薩(因)「卷上 十四丁裏7行目」・心生(シンセイ)「卷上 十五丁裏2行目」・共俱ナリ(トモ「ニ」)トモ「ニ」「卷上 十六丁表1行目」・存(存)の右上に角筆による濁点「卷上 十六丁裏7行目」・心性(性)の右上に角筆による濁点「卷上 十七丁裏6行目」・妄ニ随トモ(ケタ)『妄』右傍「卷上 十七丁裏7行目」・執者(シツシヤ)上欄外、シ「ツ」「卷上 十八丁表2行目」・即心行処滅ス(アミスル)「卷上 十八丁裏3行目」・展転シテ(テ「ン」)「卷上 十八丁裏4行目」・実無シ(ヒツ)「卷上 十九丁表2行目」・餘名(ヨウ)「卷上 十九丁表7行目」・説ト雖トモ(ト「コウ」)ト「卷上 二十丁裏2行目」・能所之念(シサイノ念)「卷上 二十丁表2行目」・所取ノ相也(シヘネン)「卷上 二十一丁裏7行目」・以レハ(ラモンミレ)ハ「卷上 二十二丁表1行目」・安心(ジユンニ)、「心」の右上に角筆による濁点「卷上 二十二丁裏6行目」・单妄(ヒトリ)「卷上 二十二丁裏6行目」・別味ト成六塵衆生(墨書)(リン王六ハシメハカシセ(以下解説不能))「卷上 二十五丁表1行目」・寄シテ(ヨセ)「卷上之二 三丁表1行目」・始覚ノ義(コンロン)「卷上之二 三丁裏6行目」・本覚(才「カク」)「卷上之二 四丁裏1行目」・智淨相(シカク(始覚))「卷上之二 四丁裏1行目」・始覚(ムメウ)「卷上之二 四丁裏3行目」・始覚ノ道圓ヲ「於」本覚ニ同スル(因)『道圓』左傍、「因」『同』左傍「卷上之二 四丁裏6行目」・生相ニ一ツ有り(ホンスシナル「カ」)「卷上之二 五丁裏1行目」・乃至(ナイ)「卷上之二 七丁表5行目」・凡夫ノ人(タケンシヨクハ)「卷上之二 七丁裏4行目」・未タ証位ニ至(ラズ)「未」(十ジニイヌラス)「卷上之二 八丁裏4行目」・此ノ位ノ中(シケン)「卷上之二 八丁裏4行目」・住相(ホツシユ)「卷上之二 九丁表3行目」・覺悟(ホツシユナマシ)「卷上之二 九丁表4行目」・鹿念(リヨサイ)「卷上之二 九丁表5行目」・尽(ムカク)「卷上之二 九丁裏2行目」・心(ヲ)見(ル)性ト云(イフ「ナリ」)、「見」の左下に角筆による返り点あり)

「卷上之二 十二丁表2行目」・覚（ハツカク）「卷上之二 十二丁表3行目」・生相（業）「卷上之二 十二丁表3行目」・連注（注）の右上に角筆による濁点「卷上之二 十二丁裏7行目」・不思議業相ナリ（ユシユ）「卷上之二 十三丁表1行目」・重習（習）の左上に角筆による濁点「卷上之二 十三丁表3行目」・萬象（フクウ）「卷上之二 十六丁裏1行目」・如実（タイ）「卷上之二 十七丁表6行目」・此ノ相統識ナリ（人ク）「卷上之二 十七丁表7行目」・無名（フカク）「卷上之二 二十丁裏6行目」・知（ル）可（カラ）不（不）「可」の左下に角筆による返点あり「卷上之二 二十一丁裏3行目」・執取（ツ）「卷上之二 二十三丁表5行目」・二ト為（ル）（ナ）「ル」  
 「卷上之二 二十四丁表4行目」・業識（コツシキ）上欄外、コ「ツ」右傍「卷上之二 二十七丁表4行目」・能現（現）の右上に角筆による濁点「卷上之二 二十七丁裏6行目」・能現（現）の右上に角筆による濁点「卷上之二 二十七丁裏6行目」・転識（ハシキ）  
 「卷上之二 二十八丁表7行目」・同（ゼ）不ス（同）の右上に角筆による濁点「卷上之二 二十八丁裏7行目」・同（ゼ）不ス（同）の右上に角筆による濁点「卷上之二 二十八丁裏7行目」・智識（六シキ）「卷上之二 二十九丁表3行目」・染淨（アクフアク）「卷上之二 二十九丁表4行目」・二皮ヲ分（シユンホンヌ）「卷上之二 三十丁表2行目」・是レ前ノ一心（ニヨライ）「卷上之二 三十丁表3行目」・五種ノ識（ゴツシキ）右傍、「ゴツシキ」左傍「卷上之二 三十丁表4行目」・少法（セ「ウ」）「卷上之二 三十丁裏7行目」・相属（ソウソク）「卷上之二 三十一丁表3行目」・起ノ見愛鹿惑（イシキヤコス）「卷上之二 三十二丁表3行目」・又復説（キ）テ分別事識ト名ク（ナツク「ル」）「卷上之二 三十二丁裏4行目」・又復説（キ）テ分別事識ト名ク（ナツク「ル」）「卷上之二 三十二丁裏4行目」・又復説（キ）テ分別事識ト名ク（ナツク「ル」）「卷上之二 三十二丁裏4行目」・発心觀察（アラ）「卷上之二 三十三

丁表2行目」・常無念（ニヨライ）「卷上之二 三十四丁表6行目」・執相（シ「う」）「卷上之二 三十五丁表2行目」・修学（シケン）「卷上之二 三十五丁裏6行目」・以色不自在ノ位ニハ（モジ）  
 「卷上之二 三十六丁裏3行目」・二同ク一境ヲ縁ス（ゲンマンニヨル）「卷上之二 三十七丁表1行目」・煩惱礙（ソウソク）「卷上之二 三十八丁裏6行目」・無明（フアク）「卷上之二 四十二丁表2行目」

## About Kakuhitsu Document owned by the Jōenji in Hiroshima

Yasushi YUNOKI

### **Abstract**

By the literature search made at Jōenji Temple in 1998, the author discovered the eleven items of Kakuhitsu literature. The Jōenji Temple is situated at Okimi, Saeki-Gun, Hiroshima Prefecture. This temple belongs to the Jodo-Shinshu sect. The discovery of a large amount of Kakuhitsu literature made in the various islands of the Inland Sea of Seto is significant in an attempt of identifying the areas where the writing tool called “Kakuhitsu” of ancient times had been used.

In this paper, the author described his successful interpretation of all the eleven items of Kakuhitsu literature, and clarified that the sentences written by the Kakuhitus strongly reflected the spoken language practiced in the Aki area during the Edo period. In making research on the local dialects from a historical standpoint, the Kakuhitsu literature has been concretely proved as an ideal literature.